

高等学校 令和8年度（1学年用） 教科

国語 科目 現代の国語

教科：国語

科目：現代の国語

単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 A組～ F組

教科担当者：（渡邊悠、渡邊菜、小池）

使用教科書：（東京書籍『新編 現代の国語』）

教科 国語

の目標：

【知識及び技能】 言語の仕組み、文章構造、表現などについての基礎知識を学び、文章を正確に読み取り、適切に書き表すことができる。

【思考力、判断力、表現力等】 言語を通して多様な情報や考えを正確に捉え、比較・分析・批判しながら思考を深めることができる。

【学びに向かう力、人間性等】 言語によって思考し、他者と関わり、自身の生活に重ね合わせて主体的に国語の学習に取り組もうとしている。

科目 現代の国語

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
現代の多様な文章に触れ、その構造・表現・語句の特徴などを理解し、文章読解・資料活用・記述に関する基礎的・基本的な知識を身に付ける。また、正確かつ適切に読み取り、書き表すための言語の仕組みや表現の特徴について理解を深める。	論理的・批判的に考え、根拠をもって判断する力を育成する。多様な情報・文章を比較・関連付けながら整理し、自分の考えを明確に形成して表現する力を養う。また、対話や議論を通じて多様な価値観を踏まえながら、自他の考えを深める態度と表現力を育む。	言語によって考え、コミュニケーションを行うことの意義を理解し、主体的に学習に取り組む態度を育てる。多様な文章に触れる中で、他者への理解を深め、よりよい社会を形成するために言語を適切に用いようとする姿勢をもつ。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		話・聞	書	読					
<p>単元 話し方・書き方の基礎</p> <p>【知識及び技能】 表記・表現の基本ルールを理解して原稿を書くことができる。接続詞の用法について理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 相手に伝わるように表現や構成を工夫している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 書き方のルールについて理解し、問題を解いている。進んでスピーチ活動に参加している。</p>	<p>教材：「原稿用紙の使い方」等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>話し言葉と書き言葉の違いについて学習する。</li> <li>原稿の書き方について、基本的なルールを学ぶ。</li> </ul>	○	○		<p>【知識】話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。 ・文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。…原稿用紙、ワークシート</p> <p>【思考】話し言葉の特徴を踏まえて話したり、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の理解が得られるように表現を工夫している。進んでスピーチ活動に参加している。：原稿用紙、スピーチ</p> <p>【態度】自分の言葉で表現している。：スピーチ、課題に取り組む姿勢</p>	○	○	○	4
<p>単元 自己を見つめる</p> <p>【知識及び技能】 ・実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばす。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 他者の価値観にふれ、自己と向き合い、異文化理解に努めている。</p>	<p>教材：「こそめスープ」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>筆者の主張を捉え、自分に照らし合わせて考えを深める。</li> <li>言い換え表現、慣用表現についての理解を深める。</li> </ul>			○	<p>【知識】文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。：ワークシート・定期考査</p> <p>【思考】文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基的に捉え、要旨や要点を把握している。：ワークシート、定期考査</p> <p>【態度】進んで筆者の気持ちの変化や考えを理解し、学習課題に沿って自分の考えをまとめている。：ワークシート、課題に取り組む姿勢</p>	○	○	○	4
定期考査						○	○		1
<p>1 学 期</p> <p>単元 他者に出会う</p> <p>【知識及び技能】 スピーチにおける基本的な構成（導入一本論—まとめ）や、話し言葉の特徴を理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 相手に伝わるように表現や構成を工夫している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 進んでスピーチ活動に参加している。</p>	<p>教材：教材：「気になるニュースについて話そう」等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分の興味のあるものについて、他者にスピーチで伝える。</li> </ul>	○	○		<p>【知識】比喩、例示、言い換えなどの話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。 ・文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。：ワークシート・定期考査</p> <p>【思考】話し言葉の特徴を踏まえて話したり、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の理解が得られるように表現を工夫している。：ワークシート、定期考査</p> <p>【態度】学習課題に沿って自分のスピーチをまとめている。：ワークシート、課題に取り組む姿勢</p>	○	○	○	4
<p>単元 他者に出会う</p> <p>【知識及び技能】 評論の書かれ方を理解し、読み方を知る。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 本文を根拠に解釈できている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 進んで本文を読もうとしている。</p>	<p>教材：「水の東西」等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>筆者の主張を捉え、自分に照らし合わせて考えを深める。</li> <li>東西の対比関係を用いながら、日本の文化にみられる特徴について論じる叙述の方法を把握する。</li> <li>筆者が考える日本人の感性の特徴について説明できる。</li> </ul>			○	<p>【知識】比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し、使っている。：ワークシート・定期考査</p> <p>【思考】本文を根拠として考え、自身の考えを深めている。 ・内容や構成、論理の展開を的確にとらえ、要旨を把握する方法を学んでいる。：ワークシート、定期考査</p> <p>【態度】学習課題に沿って自分の考えをまとめている。：ワークシート、課題に取り組む姿勢</p>	○	○	○	8
<p>単元 評論の構造と論理を解き明かす</p> <p>【知識及び技能】 評論の構成（序論・本論・結論）や論の展開（対比、具体例、言い換え）を理解し、マーキング等の手法を用いて要旨を的確に把握できる。</p>	<p>教材：「評論の読み方・漢字」等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>評論とはどのような文章かを理解する。</li> <li>要約について要点を理解し、自分なりに書くことができる。</li> </ul>			○	<p>【知識】実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通じて、語感を磨いている。：ワークシート・定期考査</p> <p>【思考】読み手の理解が得られるよう、論理の</p>	○	○	○	8



高等学校 令和8年度（1学年用） 教科 国語 科目 言語文化

教科：国語

科目：言語文化

単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 A組～F組

教科担当者：（A組：亀井、新村）（B組：亀井、新村）（C組：亀井、新村）（D組：亀井、新村）（E組：亀井、新村）（F組：亀井、新村）

使用教科書：（数研出版「新編 言語文化」）

教科 国語

の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができる

【思考力、判断力、表現力等】社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす

【学びに向かう力、人間性等】言葉の持つ価値への認識を深め、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手として国語を尊重しその能力の向上を図る態度を養う。

科目 言語文化

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数		
			話	書	読							
1 学 期	A 単元 古文に親しもう 【知識及び技能】 歴史的仮名遣いを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 歴史的仮名遣いと現代仮名遣いのつながりを理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで本文の語句や文法を調べよう。	教材「いろは歌」 「竹取物語」ほか有名作品の冒頭文 ・歴史的仮名遣いを理解する。 ・平安・鎌倉時代の文化を理解する。 ・文章内の登場人物の状況を理解し、その心情を味わう。		○	○	【知識及び技能】 歴史的仮名遣いを理解して現代仮名づかいに改めることができる。（演習、ノート） 【思考力、判断力、表現力等】 歴史的仮名遣いと現代仮名遣いの共通点、相違点について説明できる。（演習、ノート） 【学びに向かう力、人間性等】 進んで本文の語句や文法を調べている。（演習、ノート）		○	○	○	5	
	B 単元 古文の世界を楽しむ 【知識及び技能】 基本的な古語の意味を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 登場人物の心情・状況を把握する。 【学びに向かう力、人間性等】 古文の時代の感覚と現代の感覚と定期考査	教材『宇治拾遺物語』『児のそら寝』 ・基本的な語句の意味を理解する。 ・現代語訳を参考に文章のあらすじを理解し、登場人物の心情を理解する。		○	○	○	【知識及び技能】 基本的な語句の意味を答えられる。（演習、ノート） 【思考力、判断力、表現力等】 説話のあらすじを把握し、説明できる。（演習、ノート） 【学びに向かう力、人間性等】 進んで本文の語句や文法を調べている。（演習、ノート）		○	○	○	8
	C 単元 昔と変わらない人の心 【知識及び技能】 古語の意味や基本的な文法を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 登場人物の心情・状況を把握する。 【学びに向かう力、人間性等】 古文の時代の感覚と現代の感覚とのつながりを考える。	教材『伊勢物語』『芥川』 ・基本的な語句の意味を理解する。 ・平安時代の文化を踏まえ、当時の恋愛観を理解する。 ・文章内の登場人物の心情を理解し、現代との共通点・相違点について考える。		○		○	【知識及び技能】 重要語句の意味や基本的な文法を理解している。（演習、ノート） 【思考力、判断力、表現力等】 登場人物の心情・状況を把握し、説明できる。（演習、ノート） 【学びに向かう力、人間性等】 登場人物の心情が、現代の感覚とどのように共通し、または異なっているか考えている。（演習、ノート）		○	○	○	8
	D 単元 昔と変わらない人の心 【知識及び技能】 古語の意味や基本的な文法を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 登場人物の心情・状況を把握する。 【学びに向かう力、人間性等】 古文の時代の感覚と現代の感覚とのつながりを考える。	教材『伊勢物語』『筒井筒』ほか ・基本的な語句の意味を理解する。 ・平安時代の文化を踏まえ、当時の恋愛観を理解する。 ・文章内の登場人物の心情を理解し、現代との共通点・相違点について考える。		○	○	○	【知識及び技能】 重要語句の意味や基本的な文法を理解している。（演習、ノート） 【思考力、判断力、表現力等】 登場人物の心情・状況を把握し、説明できる。（演習、ノート） 【学びに向かう力、人間性等】 登場人物の心情が、現代の感覚とどのように共通し、または異なっているか考えている。（演習、ノート）		○	○	○	10
2 学 期	E 単元 受け継がれる古典 【知識及び技能】 本文の意味を理解し、内容を把握する。 【思考力、判断力、表現力等】 登場人物の心情を、本文を根拠に説明する。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで本文を読み、古文とのつながりについて考える。	教材『羅生門』 ・近代小説の名作に親しみ、場面効果や登場人物の心情の変化等について表現に即して読み味わう。 ・『宇治拾遺物語』『今昔物語』との比較を通して、作品の特徴について考察する。		○	○	○	【知識及び技能】 重要語句の意味や基本的な文法を理解している。（演習、ノート） 【思考力、判断力、表現力等】 登場人物の心情・状況を、本文を根拠にして説明できる。（演習、ノート） 【学びに向かう力、人間性等】 物語の設定や構成が、古文とどのように共通し、または異なっているか考えている。（演習、ノート）		○	○	○	10
	定期考査							○	○		1	
3 学 期	F 単元 語感を磨く 【知識及び技能】 本文の意味を理解し、内容を把握する。 【思考力、判断力、表現力等】 登場人物の心情を、本文を根拠に説明する。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで本文を読み、文学、言語の推移について考える。	教材『舟を編む』 ・現代小説に親しみ、場面効果や登場人物の心情の変化等について表現に即して読み味わう。 ・辞書について知り、言葉の多様性について考察する。		○	○	○	【知識及び技能】 重要語句の意味や基本的な心情・展開を理解している。（演習、ノート） 【思考力、判断力、表現力等】 登場人物の心情・状況を、本文を根拠にして説明できる。（演習、ノート） 【学びに向かう力、人間性等】 言葉を大切にすることや言葉の多様性について、自分なりに考えている。（演習、ノート）		○	○	○	10
	定期考査							○	○		1	
3 学 期	G 単元 故事と成語 【知識及び技能】 漢文の基本的な文法を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 さまざまな故事成語が意味する教訓について理解し、説明する。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで本文を読む。	教材『孟子』『戦国策』 ・現代でも使われるさまざまな故事成語の由来を知り、その意味するところを理解する。 ・古文や近代文学との比較を通して、漢文の特徴について理解する。			○	○	【知識及び技能】 漢文の基本的な文法を理解し、演習問題に答えられる。（演習、ノート） 【思考力、判断力、表現力等】 故事成語の意味するところを説明できる。（演習、ノート） 【学びに向かう力、人間性等】 進んで本文を読み、演習問題に答えている。（演習、ノート）					7
	H 単元 漢詩を味わう 【知識及び技能】 漢文の応用的な文法を理解する。	教材『唐詩選』ほか ・現代でも使われるさまざまな故事成語の由来を知り、その意味するところを理解する。					【知識及び技能】 漢文の基本的な文法を理解し、演習問題に答えられる。（演習、ノート） 【思考力、判断力、表現力等】					

<b>期</b> 【思考力、判断力、表現力等】 漢詩に現れた作者の心情を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで本文を読む。	るところを理解する。 ・古文や近代文学との比較を通して、漢文の特徴について理解する。	○	○	【漢字の読み、漢文の読み、漢文の書き】 故事成語の意味するところを説明できる（演習、ノート） 【学びに向かう力、人間性等】 進んで本文を読み、演習問題に答えている。（演習、ノート）			7
定期考査					○	○	1
							合計
							70

年間授業計画 様式例

高等学校 令和8年度 (2学年用) 教科

国語

科目 文学国語

教科: 国語

科目: 文学国語

単位数:

単位 2

対象学年組: 第 2 学年 A 組 ~ F 組

教科担当者: 新村・渡邊菜・渡邊悠

使用教科書: (大修館書店 『文学国語』)

教科 国語

の目標:

【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができる。

【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【主体的に学習に取り組む態度】 言葉の持つ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 文学国語

の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域				評価規準	知	思	態	配当 時数
		話	聞	書	読					
<p>【第1部】 小説(一) 現代への視点 旅する本</p> <p>・登場人物の設定や心情の変化を的確に読み取る。 ・語り手の役割を意識する。 【知識及び技能】 作品の構成や展開、擬人法といった表現の特徴について理解を深め、その効果を本文に即して的確に説明している。 【思考力、判断力、表現力等】 作品の構成や展開を理解し、各登場人物の置かれた状況や心情の変化について、本との出会いを中心に、本文に即して的確にとらえている。 【主体的に学習に取り組む態度】 登場人物の描かれ方に着目しながら小説を読むことをとおして、本と人間との関わりについて考えたり、多様なジャンルの読書に対する意欲を培うとしている。</p>	<p>・作者についての情報を確認する。 ・初読の感想や「本」と人間との関係について自分の考えを述べる。 ・「本」についての情報を確認する。 ・「本」の現在の姿を確認する。 ・「男」の切迫した状況に対する焦燥や絶望感を読み取る。 ・「男の子」が手にした「本」の姿を確認する。 ・「男の子」の置かれた状況と心情を読み取る。 ・「女」が手にした「本」の姿を確認する。 ・「女」の心情は「本」を読むことによつてどのように変化するかを考察する。</p>	○	○	○	○					8
<p>【第1部】 文学の原 文学とは何か</p> <p>・文学作品の特徴を把握し、自身と文学作品とのつながりを意識する。 【知識及び技能】 文学作品の種類や各々の特徴を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 文学とは何かについて自分の考えを記述できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 文学とは何かについて、自分なりに考え、意見をまとめようとしている。</p>	<p>・文学作品の種類を把握する。 ・さまざまな文学作品の共通点や相違点を理解する。 ・自分にとっての「大切な一冊」を挙げ、それについて紹介文をまとめる。</p>	○	○	○	○					5
<p>【第1部】 小説(二) 語りの世界 山月記①</p> <p>【知識及び技能】 注や辞書を参考に、語句の意味をまとめている。 【思考力、判断力、表現力等】 場面の展開を理解し、自ら段落分けをしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 文体を意識し、著名な文学作品の表現について考えを深めようとしている。</p>	<p>・「山月記」の概要を把握する。 ・李徴の性格を記述内容からまとめる。 ・発狂するに至った経緯を記述内容からまとめる。</p>	○	○	○	○					4
<p>定期考査</p>		○	○							1
<p>【第1部】 小説(二) 語りの世界 山月記②</p> <p>・李徴の心情や境遇を理解する。 【知識及び技能】 注や辞書を参考に、意味や使い方をノートやワークシートにまとめている。 【思考力、判断力、表現力等】 李徴が虎になった理由を、李徴の独白から、変化しつつあることを読み取り、ノートなどに整理している。「臆病な自尊心」「尊大な羞恥心」とはどのような文脈から読み取り、作品の主題を理解できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 小説を読んで、人間、社会、自然などについて考え、自分自身の考えを他人の考えと比較しながら、もの見方、感じ方、考え方を深めようとしている。</p>	<p>・異類の身で哀憐と再会した李徴の複雑な心情を読み取る。 ・李徴と哀憐の性格や現在の状況が対比的に描かれていることに気づく。 ・虎でありながら人間の心をもつという特殊な状況に置かれた李徴の苦しみを理解する。 ・哀憐が李徴の詩に「欠けるところ」があると感じた理由について考える。 ・「臆病な自尊心」「尊大な羞恥心」を中心とする李徴の心情について考え、李徴が人と交わらなかった理由、切腹を断った理由などについて理解する。 ・李徴の悲しみや苦しみ、そして、それをおかかってもらえない切なさを感じる。 ・哀憐への依頼内容を読み取り、李徴が自己をどう認識していたかについて考える。 ・李徴が自嘲する心情を心情を理解する。</p>	○	○	○	○					8
<p>定期考査</p>		○	○							1









高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 公民 科目 公共

教科：公民 科目：公共 単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 A組～F組

教科担当者：A～C組：高橋 D～F組：池野

使用教科書：（数研出版 『改訂版 高等学校 公共 これからの社会について考える』）

教科 公民 の目標：

【知識及び技能】現代社会について、課題を捉え探究するに足る基礎的な知識及び技能を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】広い視野に立って社会を捉え、知識を基に社会的な事象について論理的に思考し課題を解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】社会的な事象に対して関心を持ち、積極的に課題を探究し解決しようとする力を養う。

科目 公共 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
現代社会について、課題を捉え探究するに足る知識及び技能を身につける。	広い視野に立って社会を捉え、知識を基に社会的な事象について論理的に思考し課題を解決する力を養う。	社会的な事象に対して関心を持ち、積極的に課題を探究し解決しようとする力を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価標準	知 思 態			配当 時数
				知	思	態	
1 学期	A 公共的な空間における人間としてのあり方・生き方 【知識及び技能】 人間や社会のあり方について考えた先哲たちの思想について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 先哲たちの考えを基に、自己や社会の理想的な在り方について考える。 【学びに向かう力、人間性等】 自己や社会のよりよい在り方について主体的に思索を深めようとする態度を育む。	①「人間」とは何か ②青年期の意義と特徴 ③モラトリアムとその課題 ④ライフサイクルと発達課題 ⑤欲求と葛藤 ⑥欲求不満と防衛機制 ⑦古代ギリシャの知恵 ⑧古代中国の知恵	【知識・技能】 人間や社会の在り方について考えた先哲たちの思想について正確な知識を有し、適切に活用することができる。 【思考・判断・表現】 先哲たちの考えを援用し、自分の意見を論理的に構築し述べるができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に学習活動に参加し、思索を深めようとしている。	○	○	○	12
	定期考査			○	○	○	1
	A 公共的な空間における人間としてのあり方・生き方 【知識及び技能】 人間や社会のあり方について考えた先哲たちの思想について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 先哲たちの考えを基に、自己や社会の理想的な在り方について考える。 【学びに向かう力、人間性等】 自己や社会のよりよい在り方について主体的に思索を深めようとする態度を育む。	⑨功利主義と義務論 ⑩公衆性と福祉 ⑪生命をめぐる問題 ⑫地球環境をめぐる問題	【知識・技能】 人間や社会の在り方について考えた先哲たちの思想について正確な知識を有し、適切に活用することができる。 【思考・判断・表現】 先哲たちの考えを援用し、自分の意見を論理的に構築し述べることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に学習活動に参加し、思索を深めようとしている。	○	○	○	6
	定期考査			○	○	○	1
2 学期	B 民主社会の基本原則と基本的人権 【知識及び技能】 民主国家の成り立ちと理念、基本的人権の考え方について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 先哲たちの考えや近現代の諸資料をもとに、社会や基本的人権の保障はどのようにあるべきかについて考える。 【学びに向かう力、人間性等】 社会のしくみのあり方について関心を持ち、主権者として主体的に思索を深めようとする態度を育む。	①政治と国家 ②民主政治の始まり ③社会契約説 ④権力分立と法の支配 ⑤日本国憲法と基本的人権 ⑥平和主義と日本の防衛政策・安全保障	【知識・技能】 民主国家の成り立ちとその理念、基本的人権の考え方について基本的な知識を有し、考察につなげることができる。 【思考・判断・表現】 先哲たちの思想や近現代の諸資料を適切に読み取り、社会や基本的人権の保障のあり方について論理的に考察し自分の考えを表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に学習活動に参加し、思索を深めようとしている。	○	○	○	6
	定期考査			○	○	○	1
	B 民主社会の基本原則と基本的人権 【知識及び技能】 民主国家の成り立ちと理念、基本的人権の考え方について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 先哲たちの考えや近現代の諸資料をもとに、社会や基本的人権の保障はどのようにあるべきかについて考える。 【学びに向かう力、人間性等】 社会のしくみのあり方について関心を持ち、主権者として主体的に思索を深めようとする態度を育む。	⑦権利と義務 ⑧公共の福祉 ⑨平等権 ⑩精神の自由 ⑪身体の自由 ⑫経済的自由 ⑬社会権 ⑭参政権 ⑮請求権 ⑯新しい人権 ⑰人権の国際的な広がり	【知識・技能】 民主国家の成り立ちとその理念、基本的人権の考え方について基本的な知識を有し、考察につなげることができる。 【思考・判断・表現】 先哲たちの思想や近現代の諸資料を適切に読み取り、社会や基本的人権の保障のあり方について論理的に考察し自分の考えを表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に学習活動に参加し、思索を深めようとしている。	○	○	○	7
	定期考査			○	○	○	1
3 学期	C ルールをつくり守る私たち 【知識及び技能】 法と生活との関係について理解し、法にしたがうとともに、法を適切に用いて自分自身を守ることができるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 一人の消費者・国民としてよりよい社会のあり方を考え、法的な行動を選択することができるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 法と社会生活のあり方について関心を持ち、主権者として主体的に思索を深めようとする態度を育む。	①法・規範の意義と役割 ②経済社会とルール ③契約と消費者の権利 ④契約上のトラブルへの対処	【知識・技能】 法が社会生活の中でどのように働いているのかについて理解している。法を適切に用いるための基本的な知識を有している。 【思考・判断・表現】 一人の消費者・国民として、法を守りよりよい社会を築いていくためにとるべき行動について多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に学習活動に参加し、思索を深めようとしている。	○	○	○	7
	定期考査			○	○	○	1
	C ルールをつくり守る私たち 【知識及び技能】 法と生活との関係について理解し、法にしたがうとともに、法を適切に用いて自分自身を守ることができるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 一人の消費者・国民としてよりよい社会のあり方を考え、法的な行動を選択することができるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 法と社会生活のあり方について関心を持ち、主権者として主体的に思索を深めようとする態度を育む。	⑤司法権と日本の裁判制度 ⑥司法参加と刑事司法制度のしくみ ⑦模擬裁判をしてみよう	【知識・技能】 法が社会生活の中でどのように働いているのかについて理解している。法を適切に用いるための基本的な知識を有している。 【思考・判断・表現】 一人の消費者・国民として、法を守りよりよい社会を築いていくためにとるべき行動について多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に学習活動に参加し、思索を深めようとしている。	○	○	○	6
	定期考査			○	○	○	1
3 学期	D 政治に参加する私たち 【知識及び技能】 国内外の政治のしくみについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 政治のあり方について諸資料をもとに考察する。主権者として政治参加のあり方について考える。 【学びに向かう力、人間性等】 政治のあり方について関心を持ち、主権者として主体的に思索を深めようとする態度を育む。	①「政治」とは何か？ ②国会のしくみと役割 ③内閣のしくみと行政機構 ④選挙の役割と意義 ⑤政党の役割 ⑥地方自治の現状と課題 ⑦世論の形成と政治参加 ⑧国際社会と国際法 ⑨戦後の国際情勢 ⑩現代の紛争 ⑪軍縮への動き ⑫国際連合の組織と課題	【知識・技能】 国内外の政治のしくみについて基本的な知識を有し、考察につなげることができる。 【思考・判断・表現】 国内外の政治のあり方について諸資料をもとに多面的・多角的に考察し表現している。主権者としての自分自身の政治参加へのあり方について自分の考えを持っている。 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に学習活動に参加し、思索を深めようとしている。	○	○	○	9
	定期考査			○	○	○	1
	E 経済活動を行う私たち 【知識及び技能】 様々な経済主体の経済活動と政府の役割について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 経済活動のあり方について諸資料をもとに考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 経済活動のあり方について関心を持ち、主権者として主体的に思索を深めようとする態度を育む。	①経済生活のしくみ ②企業の働きと役割 ③日本を支える中小企業と農業 ④現代の労働問題 ⑤市場経済のしくみと物価 ⑥国民所得と経済成長 ⑦金融の役割と金融政策 ⑧財政と租税の役割	【知識・技能】 様々な経済主体の経済活動と政府の役割について基本的な知識を有し、考察につなげることができる。 【思考・判断・表現】 経済活動のあり方について諸資料をもとに多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に学習活動に参加し、思索を深めようとしている。	○	○	○	12
	定期考査			○	○	○	1

定期考査			○	○	○	1
						合計
						70



東京都立橋高等学校 令和8年度 教科 数学 科目 数学 I

教科： 数学 科目： 数学 I 単位数： 3 単位

対象学年組： 第 1 学年 A 組～ F 組

教科担当者： (A組：岡田明彦 竹内亮太) (B組：小林志穂 竹内亮太) (C組：小林志穂 竹内亮太)  
(D組：原知己 竹内亮太) (E組：原知己 竹内亮太) (F組：岡田明彦 竹内亮太)

使用教科書： ( 改訂版 最新 数学 I (数研出版) )

教科 数学 の目標：

【知識及び技能】 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学 I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数と式、図形と計量、二次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	A 単元 数と式 【知識及び技能】 不等式の解の意味や不等式の性質について理解し、一次不等式の解を求めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 問題を解決する際に、既に学習した計算の方法と関連付けて、式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとすることができる。	・整式の加法・減法・乗法・展開 公式 ・因数分解 ・実数 ・根号を含む式の計算 ・1次不等式 ・連立不等式	【知識】：定期考査から判断 【思考】：提出物から判断 【態度】：授業への参加態度から判断	○	○	○	43
	定期考査			○	○		2
2 学 期	B 単元 2次関数 【知識及び技能】 二次不等式の解と二次関数のグラフとの関係について理解し、二次関数のグラフを用いて二次不等式の解を求めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 二つの数量の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとすることができる。	・ $y=ax^2$ のグラフ ・ $y=ax^2+q$ のグラフ ・ $y=a(x-p)^2$ のグラフ ・ $y=a(x-p)^2+q$ のグラフ ・平方完成 ・2次関数の最大・最小 ・2次関数の決定 ・2次方程式 ・2次不等式	【知識】：定期考査から判断 【思考】：提出物から判断 【態度】：授業への参加態度から判断	○	○	○	43
	定期考査			○	○		2
	C 単元 図形と計量 【知識及び技能】 正弦定理や余弦定理について三角形の決定条件や三平方の定理と関連付けて理解し、三角形の辺の長さや角の大きさなどを求めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 図形の構成要素間の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとすることができる。	・鋭角の三角比 ・三角比の利用 ・三角比の表 ・三角比の相互関係 ・三角比の拡張 ・正弦定理・余弦定理 ・三角形の面積	【知識】：定期考査から判断 【思考】：提出物から判断 【態度】：授業への参加態度から判断	○	○	○	6

3 学 期	<p>D 単元 集合と命題</p> <p>【知識及び技能】 集合と命題に関する基本的な概念を理解することができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 集合の考えを用いて論理的に考察し、簡単な命題を証明することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとすることができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集合と部分集合</li> <li>・共通部分、和集合、補集合</li> <li>・命題と集合</li> <li>・命題と証明</li> </ul>	<p>【知識】：定期考査から判断</p> <p>【思考】：提出物から判断</p> <p>【態度】：授業への参加態度から判断</p>	○	○	○	4
	<p>E 単元 データの分析</p> <p>【知識及び技能】 コンピュータなどの情報機器を用いるなどして、データを表やグラフに整理したり、基本的な統計量を求めたりすることができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 目的に応じて複数の種類のデータを収集し、適切な統計量やグラフ、手法などを選択して分析を行うことができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとすることができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・データの整理</li> <li>・データの代表値</li> <li>・四分位数、箱ひげ図</li> </ul>	<p>【知識】：定期考査から判断</p> <p>【思考】：提出物から判断</p> <p>【態度】：授業への参加態度から判断</p>	○	○	○	4
	定期考査			○	○		1

合計
105

高等学校 令和8年度(2学年用) 教科 数学 科目 数学A

教科: 数学 科目: 数学A 単位数: 2 単位

対象学年組: 第2学年 A組~ F組

教科担当者: (A~F組: 原知己、岡田明彦、小林志穂)

使用教科書: (最新 数学A)

教科 数学 の目標:

【知識及び技能】数量や図形、関数などに関する基本的な概念、原理・法則を理解するとともに、数学的な表現や処理の方法を身に付け、問題解決に適切に活用できるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】事象を数学的に捉え、論理的に考察する力、数量や図形の関係に着目して問題を解決する力、考えた過程や結果を数学的な表現を用いて適切に説明する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】数学のよさや有用性を認識し、数学を活用して主体的に問題を解決しようとするとともに、粘り強く考え、解決過程を振り返って自らの学習を調整しようとする態度を養う。

科目 数学A の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
集合、場合の数、図形の性質、数学と人間の活動などに関する基本的な概念や原理・法則を理解するとともに、事象を数量的・図形的に捉え、数学的な方法を用いて処理する技能を身に付ける。	事象を数学的に考察し、条件に応じて適切に場合分けや図形の性質の活用を行うとともに、考えた過程や結果を論理的に説明し表現する力を養う。	数学的な見方・考え方のよさを認識し、日常の事象や問題解決に数学を活用しようとするともに、粘り強く考え、解決過程を振り返って学習を改善しようとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	① 場合の数 【具体的な指導目標】 【知識及び技能】 場合の数を考え、集合の要素の個数、集合間の関係について理解し、図や式を用いて適切に表現できるようにする。 【思考力・判断力・表現力等】 事象を集合として捉え、条件に応じて分類・整理するとともに、ベン図などを用いて集合間の関係論理的に考察し、表現できるようにする。 【学びに向かう力・人間性等】 集合の考え方の有用性を認識し、身近な事象や問題解決に主体的に活用しようとする態度を養う。	・場合の数 ・集合の表し方 ・集合の要素の個数 ・集合間の関係(連集合を含む) ・ベン図の活用	【知識・技能】 ・集合の表し方、集合の要素の個数や集合間の関係を理解している。 ・集合を図や式で表し、集合に関する問題を処理することができる。 【思考・判断・表現】 ・事象を集合として捉え、条件に応じて分類・整理し、図を用いて論理的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・集合の考え方のよさを認識し、粘り強く問題に取り組み、学習を振り返ろうとしている。	○	○	○	7
	② 場合の数 【具体的な指導目標】 【知識及び技能】 加法原理・乗法原理、順列、組合せなどの考え方や求め方を理解し、条件に応じて場合の数を求めることができるようにする。 【思考力・判断力・表現力等】 事象を条件に応じて整理・分類し、図や表、樹形図などを用いて場合の数を論理的に考察し、考えた過程や結果を適切に表現できるようにする。 【学びに向かう力・人間性等】 場合の数の考え方の有用性を認識し、身近な事象や問題解決に積極的に活用しようとするとともに、実行継続しながら粘り強く考える態度を養う。	・場合の数の考え方 ・加法原理・乗法原理 ・順列 ・組合せ ・(発展) 同じものを含む順列・円順列・重複組合せ	【知識・技能】 ・加法原理・乗法原理、順列、組合せの意味や求め方を理解している。 ・条件に応じて適切な方法を選択し、場合の数を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・事象を整理・分類し、図や表を用いて場合の数を論理的に考察し、考えた過程や結果を説明している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・場合の数の考え方のよさを認識し、粘り強く問題に取り組み、学習を振り返ろうとしている。	○	○	○	3
	定期考査			○	○		1
	③ 場合の数 【具体的な指導目標】 【知識及び技能】 加法原理・乗法原理、順列、組合せなどの考え方や求め方を理解し、条件に応じて場合の数を求めることができるようにする。 【思考力・判断力・表現力等】 事象を条件に応じて整理・分類し、図や表、樹形図などを用いて場合の数を論理的に考察し、考えた過程や結果を適切に表現できるようにする。 【学びに向かう力・人間性等】 場合の数の考え方の有用性を認識し、身近な事象や問題解決に積極的に活用しようとするとともに、実行継続しながら粘り強く考える態度を養う。	・場合の数の考え方 ・加法原理・乗法原理 ・順列 ・組合せ ・(発展) 同じものを含む順列・円順列・重複組合せ	【知識・技能】 ・加法原理・乗法原理、順列、組合せの意味や求め方を理解している。 ・条件に応じて適切な方法を選択し、場合の数を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・事象を整理・分類し、図や表を用いて場合の数を論理的に考察し、考えた過程や結果を説明している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・場合の数の考え方のよさを認識し、粘り強く問題に取り組み、学習を振り返ろうとしている。	○	○	○	15
定期考査			○	○		1	
2 学期	④ 数学と人間の活動 【具体的な指導目標】 【知識及び技能】 数学が社会や人間の活動と関わっていることを理解し、数学的な考え方や内容を具体的な事象に適用できるようにする。 【思考力・判断力・表現力等】 身近な事象や課題を数学的に捉え、既習内容を活用して考察し、結果や過程を適切に表現できるようにする。 【学びに向かう力・人間性等】 数学の有用性や面白さを実感し、数学を活用して主体的に課題を解決しようとする態度を養う。	・数学と社会・生活との関わり ・身近な事象の数学化 ・探究的活動・まとめ	【知識・技能】 ・数学が人間の活動や社会と関わっていることを理解している。 ・学習した数学的な考え方や手法を活用している。 【思考・判断・表現】 ・事象を数学的に捉え、適切に考察し、考えた過程や結果を説明している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・数学の有用性を認識し、意欲的に課題に取り組み、学習を振り返ろうとしている。	○	○	○	15
	定期考査			○	○		1
	⑤ 図形の性質 【具体的な指導目標】 【知識及び技能】 三角形や四角形などの基本的な図形の性質を理解し、図形の性質を用いて問題を処理することができるようにする。 【思考力・判断力・表現力等】 図形の構成要素や関係に着目し、仮定と結論を整理して論理的に考察するとともに、図形の性質を用いた考え方を適切に表現できるようにする。 【学びに向かう力・人間性等】 図形の性質のよさを認識し、図や操作を通して主体的に考察し、問題解決に取り組もうとする態度を養う。	・三角形の性質 ・四角形の性質 ・合同・対応 ・図形の性質を根拠とした説明	【知識・技能】 ・三角形や四角形などの図形の性質を理解している。 ・図形の性質を用いて、問題を処理することができる。 【思考・判断・表現】 ・図形の関係に着目し、論理的に考察して結論を導き、その過程を説明している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・図形の性質に関心を持ち、粘り強く問題に取り組み、自分の考えを振り返ろうとしている。	○	○	○	15
定期考査			○	○		1	
3 学期	⑥ 図形の性質 【具体的な指導目標】 【知識及び技能】 三角形や四角形などの基本的な図形の性質を理解し、図形の性質を用いて問題を処理することができるようにする。 【思考力・判断力・表現力等】 図形の構成要素や関係に着目し、仮定と結論を整理して論理的に考察するとともに、図形の性質を用いた考え方を適切に表現できるようにする。 【学びに向かう力・人間性等】 図形の性質のよさを認識し、図や操作を通して主体的に考察し、問題解決に取り組もうとする態度を養う。	・三角形の性質 ・四角形の性質 ・合同・対応 ・図形の性質を根拠とした説明	【知識・技能】 ・三角形や四角形などの図形の性質を理解している。 ・図形の性質を用いて、問題を処理することができる。 【思考・判断・表現】 ・図形の関係に着目し、論理的に考察して結論を導き、その過程を説明している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・図形の性質に関心を持ち、粘り強く問題に取り組み、自分の考えを振り返ろうとしている。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
				○	○		合計 70



高等学校 令和8年度（3学年用） 教科 理科 科目 生物基礎

教科：理科 科目：生物基礎

単位数：2 単位

対象学年組：第3学年 A組～

F組

教科担当者：(A組：穂積) (B組：穂積)

(C組：穂積)

(D組：穂積)

(E組：穂積)

(F組：穂積)

使用教科書：(第一学習社 改訂 高等学校 生物基礎)

使用教材：(第一学習社 改訂 プログレス生物基礎)

教科 理科 の目標：

【知識及び技能】日常生活を回りつつ物質とその変化を理解し、科学的探究に必要な基本的技能を習得する。

【思考力、判断力、表現力等】観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】生命活動に興味を持って主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 生物基礎 の目標：

Table with 4 columns: 自然の事物・現象についての概念や原理、法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの技能身に付ける。 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】

Main table with 5 columns: 単元の具体的な指導目標, 指導項目・内容, 評価規準, 知, 思, 態, 配当 時数. Contains detailed lesson plans for chapters 1, 2, 3, 4, 5.

高等学校 令和8年度（1学年用） 教科 保健体育 科目 体育

教科：保健体育 科目：体育 単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 A組～ F組

教科担当者：（A組：新岡、高澤）（B組：亀井、佐藤）（C組：新岡、菊池）（D組：亀井、佐藤）（E組：新岡、菊池）（F組：亀井、高澤）

使用教科書：（大修館）

教科 保健体育 の目標：

- 【知識及び技能】 基礎的体力と運動技能の向上を図る
- 【思考力、判断力、表現力等】 健康・安全についての理解を深め、集団における自己の役割を自覚して協力及び責任ある行動がとれるようにする
- 【学びに向かう力、人間性等】 創意工夫や努力をし、自主的・主体的に運営する能力を身につけ、生涯に亘ってスポーツを親しむ態度を身につける

科目 体育 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ルールや知識を身に付ける。</li> <li>・技能向上・記録更新を目指す。</li> <li>・体力の向上を目指す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己の能力に応じた運動の課題設定ができる。</li> <li>・運動の仕方を考え、工夫し活動ができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主体的に運動に取り組み、運動の楽しさや喜びを体得させる。</li> <li>・生涯体育を目指し、他者と協力して運動に親しむ資質や能力を育てる。</li> </ul>

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
単元 陸上競技 【知識及び技能】 運動の特性を理解し、自己の体力向上を目指す 【思考力、判断力、表現力等】 自己のベストタイムに挑戦する 【学びに向かう力、人間性等】 他者と協力し生涯体育への導入にする	◎陸上競技、体づくり運動 ・短距離走 ・持久走 ・体力向上のための運動	【知識・技能】 ・トレーニングの種類や練習方法を身に付ける。 ・技能向上・記録更新を目指す。 ・体力の向上を目指す。 【思考・判断・表現】 ・己の能力に応じた運動の課題設定ができる。 ・運動の仕方を考え、工夫し活動ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・主体的に運動を行い楽しさや喜びを体得する。 ・生涯体育を目指し、他者と協力して運動に親しむ資質や能力を育てる。	○	○	○	6
単元 球技 【知識及び技能】 ルールを理解しプレーができる 【思考力、判断力、表現力等】 基礎基本のプレーをマスターしチームプレーに参加できる 【学びに向かう力、人間性等】 他者と協力しチームプレーを楽しむことができる	バレーボール ・パス、レシーブ、スパイク、ブロック ・簡易ゲーム	【知識・技能】 ・ルールや知識を身に付ける。 ・技能向上・記録更新を目指す。 ・体力の向上を目指す。 【思考・判断・表現】 ・己の能力に応じた運動の課題設定ができる。 ・運動の仕方を考え、工夫し活動ができる 【主体的に学習に取り組む態度】 ・主体的に運動を行い楽しさや喜びを体得する。 ・生涯体育を目指し、他者と協力して運動に親しむ資質や能力を育てる。	○	○	○	12
単元 水泳 【知識及び技能】 水難事故を防ぐ知識を身に付けさせる 【思考力、判断力、表現力等】 各種泳法を身に付け安全に泳ぐことができる 【学びに向かう力、人間性等】 他者と協力し救助活動の仕方を身に付けている。	◎水泳 ・クロール、平泳ぎ、背泳ぎの泳法指導 ・安全に速く泳ぐ、長く泳ぐ技術指導	【知識・技能】 ・安全に泳ぐ知識・泳法を身に付ける。 ・技能向上・記録更新を目指す。 ・体力の向上を目指す。 【思考・判断・表現】 ・己の能力に応じた運動の課題設定ができる。 ・運動の仕方を考え、工夫し活動ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・主体的に水泳の楽しさや泳ぐ喜びを体得する。 ・生涯体育を目指し、他者と協力して運動に親しむ資質や能力を育てる。	○	○	○	6
単元 水泳 【知識及び技能】 水難事故を防ぐ知識を身に付けさせる 【思考力、判断力、表現力等】 各種泳法を身に付け安全に泳ぐことができる 【学びに向かう力、人間性等】 他者と協力し救助活動の仕方を身に付けている。	◎水泳 ・クロール、平泳ぎ、背泳ぎの泳法指導 ・安全に速く泳ぐ、長く泳ぐ技術指導	【知識・技能】 ・安全に泳ぐ知識・泳法を身に付ける。 ・技能向上・記録更新を目指す。 ・体力の向上を目指す。 【思考・判断・表現】 ・己の能力に応じた運動の課題設定ができる。 ・運動の仕方を考え、工夫し活動ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・主体的に水泳の楽しさや泳ぐ喜びを体得する。 ・生涯体育を目指し、他者と協力して運動に親しむ資質や能力を育てる。	○	○	○	2
単元 球技 【知識及び技能】 ルールを理解しプレーができる 【思考力、判断力、表現力等】 基礎基本のプレーをマスターしチームプレーに参加できる 【学びに向かう力、人間性等】	◎ソフトボール ・キャッチボール ・ピッチング ・バッティングの基礎 ◎バスケットボール ・パス、ドリブル、シューティング、	【知識・技能】 ・ルールや知識を身に付ける。 ・技能向上・記録更新を目指す。 ・体力の向上を目指す。 【思考・判断・表現】 ・己の能力に応じた運動の課題設定ができる。				



高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 保健体育 科目 体育

教科：保健体育

科目：体育

単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年 A 組～ F 組

教科担当者：（A組：亀井、菊池） （B組：亀井、高澤） （C組：佐藤、菊池） （D組：佐藤、高澤） （E組：新岡、菊池） （F組：新岡、高澤）

使用教科書：（ 大修館 ）

教科 保健体育

の目標：

【知識及び技能】 基礎的体力と運動技能の向上を図る

【思考力、判断力、表現力等】 健康・安全についての理解を深め、集団における自己の役割を自覚して協力及び責任ある行動がとれるようにする

【学びに向かう力、人間性等】 創意工夫と努力をし、自主的・主体的に運営する能力を身につけ、生涯に亘ってスポーツを親しむ態度を身につける

科目 体育

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ルールや知識を身に付ける。</li> <li>・技能向上・記録更新を目指す。</li> <li>・体力の向上を目指す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己の能力に応じた運動の課題設定ができる。</li> <li>・運動の仕方を考え、工夫し活動ができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主体的に運動に取り組み、運動の楽しさや喜びを体得させる。</li> <li>・生涯体育を目指し、他者と協力して運動に親しむ資質や能力を育てる。</li> </ul>

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
単元 陸上競技 【知識及び技能】 運動の特性を理解し、自己の体力向上を目指す 【思考力、判断力、表現力等】 自己のベストタイムに挑戦する 【学びに向かう力、人間性等】 他者と協力し生涯体育への導入にする	◎陸上競技、体づくり運動 ・短距離走 ・持久走 ・体力向上のための運動	【知識・技能】 ・トレーニングの種類や練習方法を身に付ける。 ・技能向上・記録更新を目指す。 ・体力の向上を目指す。 【思考・判断・表現】 ・己の能力に応じた運動の課題設定ができる。 ・運動の仕方を考え、工夫し活動ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・主体的に運動を行い楽しさや喜びを体得する。 ・生涯体育を目指し、他者と協力して運動に親しむ資質や能力を育てる。	○	○	○	6
単元 球技 【知識及び技能】 ルールを理解しプレーができる 【思考力、判断力、表現力等】 基礎基本のプレーをマスターしチームプレーに参加できる 【学びに向かう力、人間性等】 他者と協力しチームプレーを楽しむことができる	バレーボール ・パス、レシーブ、スパイク、ブロック ・簡易ゲーム	【知識・技能】 ・ルールや知識を身に付ける。 ・技能向上・記録更新を目指す。 ・体力の向上を目指す。 【思考・判断・表現】 ・己の能力に応じた運動の課題設定ができる。 ・運動の仕方を考え、工夫し活動ができる 【主体的に学習に取り組む態度】 ・主体的に運動を行い楽しさや喜びを体得する。 ・生涯体育を目指し、他者と協力して運動に親しむ資質や能力を育てる。	○	○	○	12
単元 水泳 【知識及び技能】 水難事故を防ぐ知識を身に付けさせる 【思考力、判断力、表現力等】 各種泳法を身に付け安全に泳ぐことができる 【学びに向かう力、人間性等】 他者と協力し救助活動の仕方を身に付けている。	◎水泳 ・クロール、平泳ぎ、背泳ぎの泳法指導 ・安全に速く泳ぐ、長く泳ぐ技術指導	【知識・技能】 ・安全に泳ぐ知識・泳法を身に付ける。 ・技能向上・記録更新を目指す。 ・体力の向上を目指す。 【思考・判断・表現】 ・己の能力に応じた運動の課題設定ができる。 ・運動の仕方を考え、工夫し活動ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・主体的に水泳の楽しさや泳ぐ喜びを体得する。 ・生涯体育を目指し、他者と協力して運動に親しむ資質や能力を育てる。	○	○	○	6
単元 水泳 【知識及び技能】 水難事故を防ぐ知識を身に付けさせる 【思考力、判断力、表現力等】 各種泳法を身に付け安全に泳ぐことができる 【学びに向かう力、人間性等】 他者と協力し救助活動の仕方を身に付けている。	◎水泳 ・クロール、平泳ぎ、背泳ぎの泳法指導 ・安全に速く泳ぐ、長く泳ぐ技術指導	【知識・技能】 ・安全に泳ぐ知識・泳法を身に付ける。 ・技能向上・記録更新を目指す。 ・体力の向上を目指す。 【思考・判断・表現】 ・己の能力に応じた運動の課題設定ができる。 ・運動の仕方を考え、工夫し活動ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・主体的に水泳の楽しさや泳ぐ喜びを体得する。 ・生涯体育を目指し、他者と協力して運動に親しむ資質や能力を育てる。	○	○	○	2
単元 球技 【知識及び技能】 ルールを理解しプレーができる 【思考力、判断力、表現力等】 基礎基本のプレーをマスターしチームプレーに参加できる 【学びに向かう力、人間性等】 他者と協力しチームプレーを楽しむことができる	◎ソフトボール ・キャッチボール ・ピッチング ・バッティングの基礎 ◎バスケットボール ・パス、ドリブル、シュート、ドリブルシュート、ランニングシュート ・簡易ゲーム ◎バドミントン ・ストローク（フォアハンド、バックハンド） ・オーバー・サイド・アンダー ・ストローク ・ショット（ハイクリアー、クリアー、ドライブ ・クリアー、ドロップ、スマッシュ） ・簡易ゲーム	【知識・技能】 ・ルールや知識を身に付ける。 ・技能向上・記録更新を目指す。 ・体力の向上を目指す。 【思考・判断・表現】 ・己の能力に応じた運動の課題設定ができる。 ・運動の仕方を考え、工夫し活動ができる 【主体的に学習に取り組む態度】 ・主体的に運動を行い楽しさや喜びを体得する。 ・生涯体育を目指し、他者と協力して運動に親しむ資質や能力を育てる。	○	○	○	20



高等学校 令和8年度（3学年用） 教科 保健体育 科目 体育

教科：保健体育

科目：体育

単位数：3 単位

対象学年組：第3学年 A組～ F組

教科担当者：（A組：新岡、菊池） （B組：新岡、高澤） （C組：亀井、高澤） （D組：亀井、佐藤） （E組：新岡、亀井） （F組：新岡、菊池）

使用教科書：（大修館）

教科 保健体育

の目標：

【知識及び技能】 基礎的体力と運動技能の向上を図る

【思考力、判断力、表現力等】 健康・安全についての理解を深め、集団における自己の役割を自覚して協力及び責任ある行動がとれるようにする

【学びに向かう力、人間性等】 創意工夫や努力をし、自主的・主体的に運営する能力を身につけ、生涯に亘ってスポーツを親しむ態度を身につける

科目 体育

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ルールや知識を身に付ける。</li> <li>・技能向上・記録更新を目指す。</li> <li>・体力の向上を目指す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己の能力に応じた運動の課題設定ができる。</li> <li>・運動の仕方を考え、工夫し活動ができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主体的に運動に取り組み、運動の楽しさや喜びを体得させる。</li> <li>・生涯体育を目指し、他者と協力して運動に親しむ資質や能力を育てる。</li> </ul>

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
単元 陸上競技 【知識及び技能】 運動の特性を理解し、自己の体力向上を目指す 【思考力、判断力、表現力等】 自己のベストタイムに挑戦する 【学びに向かう力、人間性等】 他者と協力し生涯体育への導入にする	◎陸上競技、体づくり運動 ・短距離走 ・持久走 ・体力向上のための運動	【知識・技能】 ・トレーニングの種類や練習方法を身に付ける。 ・技能向上・記録更新を目指す。 ・体力の向上を目指す。 【思考・判断・表現】 ・己の能力に応じた運動の課題設定ができる。 ・運動の仕方を考え、工夫し活動ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・主体的に運動を行い楽しさや喜びを体得する。 ・生涯体育を目指し、他者と協力して運動に親しむ資質や能力を育てる。	○	○	○	6
単元 球技 【知識及び技能】 ルールを理解しプレーができる 【思考力、判断力、表現力等】 基礎基本のプレーをマスターしチームプレーに参加できる 【学びに向かう力、人間性等】 他者と協力しチームプレーを楽しむことができる	バレーボール ・パス、レシーブ、スパイク、ブロック ・簡易ゲーム	【知識・技能】 ・ルールや知識を身に付ける。 ・技能向上・記録更新を目指す。 ・体力の向上を目指す。 【思考・判断・表現】 ・己の能力に応じた運動の課題設定ができる。 ・運動の仕方を考え、工夫し活動ができる 【主体的に学習に取り組む態度】 ・主体的に運動を行い楽しさや喜びを体得する。 ・生涯体育を目指し、他者と協力して運動に親しむ資質や能力を育てる。	○	○	○	12
単元 選択球技 【知識及び技能】 ルールを理解しプレーができる 【思考力、判断力、表現力等】 基礎基本のプレーをマスターしチームプレーに参加できる 【学びに向かう力、人間性等】 他者と協力しチームプレーを楽しむことができる	◎バドミントン ・ストローク（フォアハンド、バックハンド） ・オーバー・サイド・アンダー ・ショット（ハイクリアー、クリアー、ドライブ） ・クリアー、ドロップ、スマッシュ ・簡易ゲーム ◎アルティメット ・スロー （バックハンド、フォアハンド、ハンマー） ・簡易ゲーム ◎卓球 ・ストローク（フォア、バック） ・簡易ゲーム	【知識・技能】 ・ルールや知識を身に付ける。 ・技能向上・記録更新を目指す。 ・体力の向上を目指す。 【思考・判断・表現】 ・己の能力に応じた運動の課題設定ができる。 ・運動の仕方を考え、工夫し活動ができる 【主体的に学習に取り組む態度】 ・主体的に運動を行い楽しさや喜びを体得する。 ・生涯体育を目指し、他者と協力して運動に親しむ資質や能力を育てる。	○	○	○	12
単元 水泳 【知識及び技能】 水難事故を防ぐ知識を身に付けさせる 【思考力、判断力、表現力等】 各種泳法を身に付け安全に泳ぐことができる 【学びに向かう力、人間性等】 他者と協力し救助活動の仕方を身に付けている。	◎水泳 ・クロール、平泳ぎ、背泳ぎの泳法指導 ・安全に速く泳ぐ、長く泳ぐ技術指導	【知識・技能】 ・安全に泳ぐ知識・泳法を身に付ける。 ・技能向上・記録更新を目指す。 ・体力の向上を目指す。 【思考・判断・表現】 ・己の能力に応じた運動の課題設定ができる。 ・運動の仕方を考え、工夫し活動ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・主体的に水泳の楽しさや泳ぐ喜びを体得する。 ・生涯体育を目指し、他者と協力して運動に親しむ資質や能力を育てる。	○	○	○	6

2 学 期	<p>単元 水泳</p> <p>【知識及び技能】 水難事故を防ぐ知識を身に付けさせる</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 各種泳法を身に付け安全に泳ぐことができる</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 他者と協力し救助活動の仕方を身に付けている。</p>	<p>◎水泳</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・クロール、平泳ぎ、背泳ぎの泳法指導</li> <li>・安全に速く泳ぐ、長く泳ぐ技術指導</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安全に泳ぐ知識・泳法を身に付ける。</li> <li>・技能向上・記録更新を目指す。</li> <li>・体力の向上を目指す。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・己の能力に応じた運動の課題設定ができる。</li> <li>・運動の仕方を考え、工夫し活動ができる。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主体的に水泳の楽しさや泳ぐ喜びを体得する。</li> <li>・生涯体育を目指し、他者と協力して運動に親しむ資質や能力を育てる。</li> </ul>	○	○	○	2
	<p>単元 球技</p> <p>【知識及び技能】 ルールを理解しプレーができる</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 基礎基本のプレーをマスターしチームプレーに参加できる</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 他者と協力しチームプレーを楽しむことができる</p>	<p>◎ソフトボール</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キャッチボール</li> <li>・ピッチング</li> <li>・バッティングの基礎</li> </ul> <p>◎バスケットボール</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パス、ドリブル、シューティング、</li> <li>ドリブルシュート、ランニングシュート</li> <li>・簡易ゲーム</li> </ul> <p>◎バドミントン</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ストローク（フォアハンド、バックハンド）</li> <li>オーバー・サイド・アンダー</li> <li>ストローク</li> <li>・ショット（ハイクリアー、クリアー、ドライブ</li> <li>クリアー、ドロップ、スマッシュ）</li> <li>・簡易ゲーム</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ルールや知識を身に付ける。</li> <li>・技能向上・記録更新を目指す。</li> <li>・体力の向上を目指す。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・己の能力に応じた運動の課題設定ができる。</li> <li>・運動の仕方を考え、工夫し活動ができる</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主体的に運動を行い楽しさや喜びを体得する。</li> <li>・生涯体育を目指し、他者と協力して運動に親しむ資質や能力を育てる。</li> </ul>	○	○	○	24
	<p>単元 選択球技</p> <p>【知識及び技能】 ルールを理解しプレーができる</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 基礎基本のプレーをマスターしチームプレーに参加できる</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 他者と協力しチームプレーを楽しむことができる</p>	<p>◎バドミントン</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ストローク（フォアハンド、バックハンド）</li> <li>オーバー・サイド・アンダー</li> <li>ストローク</li> <li>・ショット（ハイクリアー、クリアー、ドライブ</li> <li>クリアー、ドロップ、スマッシュ）</li> <li>・簡易ゲーム</li> </ul> <p>◎アルティメット</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スロー</li> <li>（バックハンド、フォアハンド、ハンマー）</li> <li>・簡易ゲーム</li> </ul> <p>◎卓球</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ストローク（フォア、バック）</li> <li>・簡易ゲーム</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ルールや知識を身に付ける。</li> <li>・技能向上・記録更新を目指す。</li> <li>・体力の向上を目指す。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・己の能力に応じた運動の課題設定ができる。</li> <li>・運動の仕方を考え、工夫し活動ができる</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主体的に運動を行い楽しさや喜びを体得する。</li> <li>・生涯体育を目指し、他者と協力して運動に親しむ資質や能力を育てる。</li> </ul>	○	○	○	13
3 学 期	<p>単元 選択球技</p> <p>【知識及び技能】 ルールを理解しプレーができる</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 基礎基本のプレーをマスターしチームプレーに参加できる</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 他者と協力しチームプレーを楽しむことができる</p>	<p>◎バドミントン</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ストローク（フォアハンド、バックハンド）</li> <li>オーバー・サイド・アンダー</li> <li>ストローク</li> <li>・ショット（ハイクリアー、クリアー、ドライブ</li> <li>クリアー、ドロップ、スマッシュ）</li> <li>・簡易ゲーム</li> </ul> <p>◎アルティメット</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スロー</li> <li>（バックハンド、フォアハンド、ハンマー）</li> <li>・簡易ゲーム</li> </ul> <p>◎卓球</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ストローク（フォア、バック）</li> <li>・簡易ゲーム</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ルールや知識を身に付ける。</li> <li>・技能向上・記録更新を目指す。</li> <li>・体力の向上を目指す。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・己の能力に応じた運動の課題設定ができる。</li> <li>・運動の仕方を考え、工夫し活動ができる</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主体的に運動を行い楽しさや喜びを体得する。</li> <li>・生涯体育を目指し、他者と協力して運動に親しむ資質や能力を育てる。</li> </ul>	○	○	○	10
	<p>単元 球技</p> <p>【知識及び技能】 ルールを理解しプレーができる</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 基礎基本のプレーをマスターしチームプレーに参加できる</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 他者と協力しチームプレーを楽しむことができる</p>	<p>◎バドミントン</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ストローク（フォアハンド、バックハンド）</li> <li>オーバー・サイド・アンダー</li> <li>ストローク</li> <li>・ショット（ハイクリアー、クリアー、ドライブ</li> <li>クリアー、ドロップ、スマッシュ）</li> <li>・簡易ゲーム</li> </ul> <p>◎アルティメット</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スロー</li> <li>（バックハンド、フォアハンド、ハンマー）</li> <li>・簡易ゲーム</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ルールや知識を身に付ける。</li> <li>・技能向上・記録更新を目指す。</li> <li>・体力の向上を目指す。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・己の能力に応じた運動の課題設定ができる。</li> <li>・運動の仕方を考え、工夫し活動ができる</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主体的に運動を行い楽しさや喜びを体得する。</li> <li>・生涯体育を目指し、他者と協力して運動に親しむ資質や能力を育てる。</li> </ul>	○	○	○	18

<p>単元 体育理論</p> <p><b>【知識及び技能】</b>          スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解することができる</p> <p><b>【思考力、判断力、表現力等】</b>          スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えることができる</p> <p><b>【学びに向かう力、人間性等】</b>          スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に取り組むことができる</p>	<p>・指導事項          スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展</p> <p>・教材          教科書・保健ノート</p> <p>・一人1台端末の活用 等          ICT機器を活用した調べ学習</p>	<p><b>【知識・技能】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ルールや知識を身に付ける。</li> <li>・技能向上・記録更新を目指す。</li> <li>・体力の向上を目指す。</li> </ul> <p><b>【思考・判断・表現】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・己の能力に応じた運動の課題設定ができる。</li> <li>・運動の仕方を考え、工夫し活動ができる</li> </ul> <p><b>【主体的に学習に取り組む態度】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主体的に運動を行い楽しさや喜びを体得する。</li> <li>・生涯体育を目指し、他者と協力して運動に親しむ資質や能力を育てる。</li> </ul>	○	○	○	2
						合計
						105













高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 家庭科 科目 家庭基礎

教科： 家庭科 科目： 家庭基礎 単位数： 2 単位  
 対象学年組：第 2 学年 A 組～ F 組  
 教科担当者：（A組：吉田・松永）（B組：吉田・松永）（C組：松岡・松永）（D組：吉田・松永）（E組：吉田・松永）（F組：吉田・松永）  
 使用教科書：（家庭基礎 自立・共生・創造（東京書籍））

教科 家庭科 の目標：  
 【知識及び技能】 人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活を主体的に営むために必要な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。  
 【思考力、判断力、表現力等】 家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して生活の課題を解決する力を養う。  
 【学びに向かう力、人間性等】 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。

科目 家庭基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。	家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
第1章 生涯を見通す 第2章 人生を作る 【知識及び技能】 人の一生について、自己と他者、社会との関わりから様々な生き方があることを理解する 【思考力、判断力、表現力等】 自立した生活を営むために必要な情報の収集・整理を行い、生涯を見通して、生活課題に対応し意思決定をする 【学びに向かう力、人間性等】 生涯を見通した自己の生活について主体的に考え、ライフスタイルと生活設計を工夫する	【指導項目】 ・人生を展望する ・目標を持って生きる ・人生をつくる ・家族・家庭を見つめる ・これからの家庭生活と社会 【教材】 教科書、教科書準拠学習ノート、授業者自作プリントを使用 【一人1台端末の活用】 社会の課題の調査、多様な考えの共有、課題の提出などに使用する	【知識及び技能】 人の一生について、自己と他者、社会との関わりから様々な生き方があることを理解している 【思考力、判断力、表現力等】 自立した生活を営むために必要な情報の収集・整理を行い、生涯を見通して、生活課題に対応し意思決定をしようとしている 【学びに向かう力、人間性等】 生涯を見通した自己の生活について主体的に考え、ライフスタイルと将来の家庭生活及び職業生活について考察し、生活設計を工夫している				6
第3章 子どもと共に育つ 【知識及び技能】 乳幼児期の心身の発達と生活、親の役割と保育、子供を取り巻く社会環境、子育て支援について理解するとともに、乳幼児と適切に関わるための基礎的な技能を身に付ける 【思考力、判断力、表現力等】 子供を生み育てることの意義について考えるとともに、子供の健やかな発達のために親や家族及び地域や社会の果たす役割の重要性について考察する 【学びに向かう力、人間性等】 相互の尊重と信頼関係のもとで共に協力して子どもを育てるために固定的な性別役割分業意識を見直す工夫をする	【指導項目】 ・命を育む ・子どもの育つ力を知る ・子どもと関わる ・子どもとの触れ合いから学ぶ ・これからの保育環境 【教材】 教科書、教科書準拠学習ノート、授業者自作プリントを使用 【一人1台端末の活用】 社会の課題の調査、多様な考えの共有、課題の提出などに使用する	【知識及び技能】 乳幼児期の心身の発達と生活、親の役割と保育、子供を取り巻く社会環境、子育て支援について理解するとともに、乳幼児と適切に関わるための基礎的な技能を身に付けている 【思考力、判断力、表現力等】 子供を生み育てることの意義について考えるとともに、子供の健やかな発達のために親や家族及び地域や社会の果たす役割の重要性について考察している 【学びに向かう力、人間性等】 相互の尊重と信頼関係のもとで共に協力して子どもを育てる意義や重要性を考え、固定的な性別役割分業意識を見直す工夫をしている				6
定期考査						
第7章 衣生活をつくる 【知識及び技能】 被服材料、被服構成及び被服衛生について理解し、被服の計画・管理に必要な技能を身に付ける 【思考力、判断力、表現力等】 ライフステージや目的に応じた被服の機能と着装について理解し、健康で快適な衣生活に必要な情報の収集・整理ができる 【学びに向かう力、人間性等】 被服の機能性や快適性について考察し、安全で健康や環境に配慮した被服の管理や目的に応じた着装を工夫する	【指導項目】 ・被服の役割を考える ・被服を入手する ・被服を管理する ・衣生活の文化と知恵 ・これからの衣生活 【教材】 教科書、教科書準拠学習ノート、授業者自作プリント、被服実習教材を使用 【一人1台端末の活用】 社会の課題の調査、多様な考えの共有、裁縫技能の動画閲覧、課題の提出などに使用する	【知識及び技能】 被服材料、被服構成及び被服衛生について理解し、被服の計画・管理に必要な技能を身に付けている 【思考力、判断力、表現力等】 ライフステージや目的に応じた被服の機能と着装について理解し、健康で快適な衣生活に必要な情報の収集・整理ができる 【学びに向かう力、人間性等】 被服の機能性や快適性について考察し、安全で健康や環境に配慮した被服の管理や目的に応じた着装を工夫している				8
定期考査						1

2 学 期	<p>第9章 経済生活を営む</p> <p>【知識及び技能】 家計の構造や生活における経済と社会との関わり、家計管理について理解する</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 消費者の権利と責任を自覚して行動できるような消費生活の現状と課題、消費行動における意思決定や契約の重要性、消費者保護の仕組みについて、生活情報を適切に収集・整理する</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 自立した消費者として、生活情報を活用し、適切な意思決定に基づく行動や責任ある消費について工夫する</p>	<p>【指導項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>情報の収集・比較と意思決定</li> <li>購入・支払いのルールと方法</li> <li>消費者の権利と責任</li> <li>生涯の経済生活を見通す</li> <li>これからの経済生活</li> </ul> <p>【教材】 教科書、教科書準拠学習ノート、授業者自作プリントを使用</p> <p>【一人1台端末の活用】 社会の課題の調査、多様な考えの共有、課題の提出などに使用する</p>	<p>【知識及び技能】 家計の構造や生活における経済と社会との関わり、家計管理について理解している</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 消費者の権利と責任を自覚して行動できるような消費生活の現状と課題、消費行動における意思決定や契約の重要性、消費者保護の仕組みについて、生活情報を適切に収集・整理できる</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 自立した消費者として、生活情報を活用し、適切な意思決定に基づいて行動することや責任ある消費について工夫している</p>	○	○	○	8
	<p>第8章 住生活をつくる</p> <p>【知識及び技能】 ライフステージに応じた住生活の特徴、防災などの安全や環境に配慮した住居の機能について理解し、適切な住居の計画・管理に必要な技能を身に付ける</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 住居の機能性や快適性、住居と地域社会との関わりについて考察する</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 防災などの安全や環境に配慮した住生活や住環境を工夫する</p>	<p>【指導項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>住生活の変遷と住居の機能</li> <li>安全で快適な住生活の計画</li> <li>住生活の文化と知恵</li> <li>これからの住生活</li> </ul> <p>【教材】 教科書、教科書準拠学習ノート、授業者自作プリントを使用</p> <p>【一人1台端末の活用】 社会の課題の調査、多様な考えの共有、課題の提出などに使用する</p>	<p>【知識及び技能】 ライフステージに応じた住生活の特徴、防災などの安全や環境に配慮した住居の機能について理解し、適切な住居の計画・管理に必要な技能を身に付けている</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 住居の機能性や快適性、住居と地域社会との関わりについて考察している</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 防災などの安全や環境に配慮した住生活や住環境を工夫している</p>	○	○	○	8
	<p>定期考査</p>						
	<p>第6章 食生活をつくる</p> <p>【知識及び技能】 栄養の特徴や食品の栄養的特質、健康や環境に配慮した食生活について理解し、自己や家族の食生活の計画・管理に必要な技能を身に付ける</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 食の安全や食品の調理上の性質、食文化の継承を考慮した献立作成や調理計画健康や環境に配慮した食生活について考察する</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 自ら食生活を改善しようとし食生活の計画や調理を工夫する</p>	<p>【指導項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>食生活の課題について考える</li> <li>食事と栄養・食品</li> <li>食品の選択と安全</li> <li>生涯の健康を見通した食事計画</li> <li>調理の基礎</li> <li>食生活の文化と知恵</li> <li>これからの食生活</li> </ul> <p>【教材】 教科書、教科書準拠学習ノート、授業者自作プリントを使用</p> <p>【一人1台端末の活用】 社会の課題の調査、多様な考えの共有、課題の提出などに使用する</p>	<p>【知識及び技能】 栄養の特徴や食品の栄養的特質、健康や環境に配慮した食生活について理解し、自己や家族の食生活の計画・管理に必要な技能を身に付けている</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 食の安全や食品の調理上の性質、食文化の継承を考慮した献立作成や調理計画健康や環境に配慮した食生活について考察できる</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 自ら食生活を改善しようとし食生活の計画や調理を工夫している</p>	○	○	○	10
<p>定期考査</p>				○	○	1	
3 学 期	<p>第4章 超高齢社会を共に生きる</p> <p>第5章 共に生き、共に支える</p> <p>【知識及び技能】 高齢期や多様な人々の特徴、取り巻く社会環境、尊厳、支援について理解するとともに、生活支援や共助に関する基礎的な技能を身に付ける</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 高齢期や多様な人々と共に生きるために家族や地域及び社会の果たす役割の重要性について考察する</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 より豊かな共生社会のために、主体的に生活を創造し工夫する</p>	<p>【指導項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>超高齢・大衆長寿社会を迎えて</li> <li>高齢期の心身の特徴</li> <li>これからの超高齢社会</li> <li>私たちの生活と福祉</li> <li>社会保障の考え方</li> <li>共に生きる</li> </ul> <p>【教材】 教科書、教科書準拠学習ノート、授業者自作プリントを使用</p> <p>【一人1台端末の活用】 社会の課題の調査、多様な考えの共有、課題の提出などに使用する</p>	<p>【知識及び技能】 高齢期や多様な人々の特徴、取り巻く社会環境、尊厳、支援について理解するとともに、生活支援や共助に関する基礎的な技能を身に付けている</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 高齢期や多様な人々と共に生きるために家族や地域及び社会の果たす役割の重要性について考察している</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 より豊かな共生社会のために、主体的に生活を創造し工夫している</p>	○	○	○	10
	<p>第10章 持続可能な生活を営む</p> <p>第11章 これからの生活を想像する</p> <p>【知識及び技能】 生活と環境との関わりや持続可能な消費について理解するとともに、持続可能な社会へ参画することの意義について理解する</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 生涯を見通した自己の生活について主体的に考え、ライフスタイルと将来の家庭生活及び職業生活について考察する</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 持続可能な社会を目指して主体的に行動できるよう、安全で安心な生活と消費について考察し、ライフスタイルを工夫する</p>	<p>【指導項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>持続可能な社会を目指して</li> <li>生活をデザインする</li> </ul> <p>【教材】 教科書、教科書準拠学習ノート、授業者自作プリントを使用</p> <p>【一人1台端末の活用】 社会の課題の調査、多様な考えの共有、課題の提出などに使用する</p>	<p>【知識及び技能】 生活と環境との関わりや持続可能な消費について理解するとともに、持続可能な社会へ参画することの意義について理解している</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 生涯を見通した自己の生活について主体的に考え、ライフスタイルと将来の家庭生活及び職業生活について考察している</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 持続可能な社会を目指して主体的に行動できるよう、安全で安心な生活と消費について考察し、ライフスタイルを工夫している</p>	○	○	○	11
	<p>定期考査</p>				○	○	1
						合計	
						70	

高等学校 令和8年度 (2学年用) 教科

教科 情報 科目 情報 I

教科： 教科 情報 科目： 情報 I  
 対象学年組： 第 2 学年 A 組～ F 組  
 教科担当者： 羽田 杜吾  
 使用教科書： ( 実教出版 新訂版図説 情報 I )  
 教科 教科 情報

単位数： 2 単位

の目標：

【知識及び技能】 情報と情報技術を問題の発見・解決に活用するための知識について理解し、技能を身に付けているとともに、情報化の進展する社会の特質及びそのような社会と人間との関わりについて理解している。

【思考力、判断力、表現力等】 事象を情報とその結び付きの視点から捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いている。

【学びに向かう力、人間性等】 情報社会との関わりについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し、自ら評価し改善しようとしている。

科目 情報 I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・情報や情報メディアの特性を踏まえ、情報と情報技術を活用して問題を発見・解決する方法を身に付けている。 ・情報に関する法規や制度、情報セキュリティの重要性、情報社会における個人の責任及び情報モラルについて理解している。 ・情報技術が人や社会に果たす役割と及ぼす影響について理解している。	・目的や状況に応じて、情報と情報技術を適切かつ効果的に活用して問題を発見・解決する方法について考えている。 ・情報に関する法規や制度及びマナーの意義、情報社会において個人の果たす役割や責任、情報モラルなどについて、それらの背景を科学的に捉え、考察している。 ・情報と情報技術の適切かつ効果的な活用と望ましい情報社会の構築について考察している。	・情報社会における問題の発見・解決に、情報と情報技術を適切かつ効果的に活用しようとしている。また、自己調整しながら、解決する過程や解決案を自ら評価し改善しようとしている。 ・情報モラルに配慮して情報社会に主体的に参画しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	A 単元 序章 情報社会と私たち 【知識及び技能】 ・IoT, 人工知能 (AI) の意味とその活用について理解する。 ・情報の信頼性、信頼性の意味を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・情報化の光と影について理解した上で、ネット依存など個人に与えている影響に対して考え、適切な判断する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・情報社会における様々な問題点を理解した上で、情報モラルについて考え、自らの行動を振り返り、改善しようとする。	・情報や知識、IoT, 人工知能 (AI) について学ぶ。 ・情報化による利便性 (情報化の「光」) と危険性 (情報化の「影」) について学ぶ。 ・匿名性の特徴、ネットワーク上のルールとマナー、情報の受信者・発信者としてのモラルと責任について学ぶ。	【知識】： 考査・小テスト等 【思考】： 考査・プリント等 【態度】： プリント・提出物・出欠等	○	○	○	5
	B 単元 1章 情報社会と問題解決 【知識及び技能】 ・問題の構成要素の把握や制約条件の整理など、問題の明確化について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・問題解決の身近な事例に対し、問題の構成要素の把握や制約条件の整理を行い、目標の設定を考査て表で表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・大切な情報を守るための暗号の利用など、情報セキュリティ技術に興味・関心をもって取り組んでいる。	・問題解決の意味を理解し、問題解決の流れについて学ぶ。 ・表計算ソフトによる情報を数値化したり、視覚化する方法について学ぶ。 ・個人情報やプライバシー、個人情報の保護や管理と関連権利 (プライバシー権、肖像権、パブリシティ権) について学ぶ。 ・知的財産権の概念 (知的財産権の種類、産業財産権や著作権の構成) について学ぶ。	【知識】： 考査・小テスト等 【思考】： 考査・プリント等 【態度】： プリント・提出物・出欠等	○	○	○	10
	C 単元 2章 コミュニケーションと情報デザイン 【知識及び技能】 ・メディアの機能と特性と分類について学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 ・インターネットを利用したコミュニケーションについて、対面の場合と比較し、気を付けるべき点について説明する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・わかりやすい報告書やレポートを作成するために、文書の作成やレイアウトについて自ら工夫をし、粘り強く取り組む。	・コミュニケーションの定義、手段、形態について学ぶ。 ・ネットワーク上のコミュニケーションのメリットとデメリット (即時性、利便性、保存性、匿名性) について学ぶ。 ・デザインの基本、色彩、ユニバーサルデザイン、アクセシビリティについて学ぶ。 ・プレゼンテーションにおけるコンテンツの作成について学ぶ。	【知識】： 考査・小テスト等 【思考】： 考査・プリント等 【態度】： プリント・提出物・出欠等	○	○	○	13
定期考査				○	○		1
2 学期	D 単元 3章 情報とコンピュータ 【知識及び技能】 ・アナログとデジタルのそれぞれ特徴や違いを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・2進数、10進数、16進数を用いて、目的に応じて適切に表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ハードウェアとソフトウェアの学習に、興味・関心をもって取り組む。	・アナログ・デジタル・デジタルデータの特徴 (情報の正確な再現、情報の容易な加工) について学ぶ。 ・コンピュータ内部の数値 (2進数、16進数) の表現について学ぶ。 ・ハードウェアとソフトウェアの違い、コンピュータ本体の働き (五大装置) ・OSとアプリケーションソフトの関係について学ぶ。	【知識】： 考査・小テスト等 【思考】： 考査・プリント等 【態度】： プリント・提出物・出欠等	○	○	○	12
	E 単元 4章 アルゴリズムとプログラミング 【知識及び技能】 ・アルゴリズムの基本構造をフローチャートで作成する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・プログラミング言語を使って、順次構造と繰り返し構造を利用した画像表示のプログラムを作成する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・例題や「並べ替え」、「じゃんけんゲーム」など作成したプログラムについて、自己評価および相互評価を行い、効率的なプログラムの改善に取り組む。	・アルゴリズムの基本構造 (順次、選択、繰り返し) , プログラム構造について学ぶ。 ・プログラムにおける変数の役割について学ぶ。 ・配列やリストを使って効率よく数値を処理できるプログラムを作る。	【知識】： 考査・小テスト等 【思考】： 考査・プリント等 【態度】： プリント・提出物・出欠等	○	○	○	10
	F 単元 5章 モデル化とデータの活用 【知識及び技能】 ・モデル化の目的や手順、モデルの分類方法について理解する。 ・シミュレーションの手順や注意点、シミュレーションツールについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・モデルの分類 (表現形式による分類、対象による分類) に関し、身のまわりの具体的な事例で説明する。 ・シミュレーションの手順について、具体的な事例で説明する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・問題解決のためのデータの分析をする。 ・収集したデータなどを表計算ソフトウェアを利用して統計処理を行い、グラフ化などをする。	・モデル化とシミュレーションの手順や分類について学ぶ。 ・データの種類と、データの活用の手順や方法について学ぶ。	【知識】： 考査・小テスト等 【思考】： 考査・プリント等 【態度】： プリント・提出物・出欠等	○	○	○	9
定期考査				○	○		1

3 学 期	<p>G 単元 5章モデル化とデータの活用</p> <p><b>【知識及び技能】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>インターネット通信の規約であるTCP/IPやパケットの流れについて理解している。</li> <li>IPアドレス、ドメイン名、URL、DHCPサーバ、HTMLなどの意味や働きについて理解している。</li> </ul> <p><b>【思考力、判断力、表現力等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>インターネットのプロトコル（TCP/IP）について、各階層の役割について、電話などの例をあげて説明する。</li> <li>データベースの活用事例やデータモデルの違いについて、身近な例をあげて説明する。</li> </ul> <p><b>【学びに向かう力、人間性等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>インターネット活用について、個人あるいはグループで調べるなどの学習活動を行い、問題の解決に取り組む。</li> <li>安全に情報を送受信する仕組みの理解のもとに、情報セキュリティに対する対策を行い、改善を試みる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>インターネットに接続するための機器と通信の規則について学ぶ。</li> <li>Webページや電子メールの仕組みについて学ぶ。</li> <li>生活に欠かせない情報システムについて学ぶ。</li> <li>データベースの機能と役割・活用事例について学ぶ。</li> <li>情報の安全を守るために、組織が行っている情報セキュリティ対策について学ぶ。</li> </ul>	<p><b>【知識】</b> 考査・小テスト等</p> <p><b>【思考】</b> 考査・プリント等</p> <p><b>【態度】</b> プリント・提出物・出欠等</p>	○	○	○	9
							合計

年間授業計画 様式例

高等学校 令和8年度（1学年用） 教科 総合的な探究の時間 科目 総合的な探究の時間

教科： 総合的な探究の時間 科目： 総合的な探究の時間 単位数： 1 単位

対象学年組： 第 1 学年 A 組～ F 組

教科担当者： (A組： 亀井朗・高橋祐) (B組： 大野・菅澤) (C組： 寺崎・田口) (D組： 深田・鈴木美) (E組： 穂積・岩金) (F組： 竹内・森中)

使用教科書： ( 人間と社会 (改訂版教科書) )

教科 総合的な探究の時間 の目標：

【知識及び技能】探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解できるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理分析して、まとめ・表現することができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いの良さを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

科目 総合的な探究の時間 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解できるようにする。	実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理分析して、まとめ・表現することができるようにする。	探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いの良さを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>A 単元：導入 「100年」をキーワードに考えるわたしたちの社会の変化</p> <p>【知識及び技能】 ・電話機の変化を考えるを通して、課題の解決により、モノや技術が進化し、暮らしが便利になっていることを理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・社会は、未来を見すえ課題を解決することで発展してきたことを実感し、自分は未来とどのように関わっていくのか、未来をつくるために大切にしなければならないことは何かを考える探究に、興味・関心を高める。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的・協働的に取り組むとともに、「よりよい社会」を実現しようとする態度を養う。</p>	<p>・指導事項 ①探究への興味・関心と、意欲を高める。 ②電話機を例に、その変化が、わたしたちの暮らしや社会にどのような影響を与えたかを考えさせる。 ③今の電話機に感じている課題をもとに、それを解決した未来の電話機を考えさせる。</p> <p>・教材 ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付けている。 (観察・ワークシート)</p> <p>【思考・判断・表現】 身近なものから、自分たちの生活の変化や、社会に与えた影響を考え、それを自らの言葉で表現することができる。 (観察・ワークシート)</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 課題解決に向けて、自分も積極的に関わろうとしている。 (観察・ワークシート)</p>	○	○	○	2
<p>B 単元：まち① 女川まちづくりプロジェクトを参考「まち」について考えを広げる</p> <p>【知識及び技能】 ・まちづくりには、様々な立ち番・そこに住む人々の想いを大切にすることが必要であることを理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・自分のまちが「魅力的なまち」であるために大切なことについてイメージマップを使って考えを広げることを通して、課題を設定するスキルをトレーニングする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的・協働的に取り組むとともに、「よりよい未来」を実現しようとする態度を養う。</p>	<p>・指導事項 ①「魅力的なまち」であるために大切なことを考え、イメージマップを作らせる。 ②「100年先も魅力的なまち」であるために、大切なことを考えさせる。 ③4つの立ち場になりきって、街に対する想いを想像して話し合い、「100年先も魅力的なまち」であるために大切なことをイメージマップに書かせる。</p> <p>・教材 ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付けている。 (観察・ワークシート)</p> <p>【思考・判断・表現】 身近なものから、自分たちの生活の変化や、社会に与えた影響を考え、それを自らの言葉で表現することができる。 (観察・ワークシート)</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 課題解決に向けて、自分も積極的に関わろうとしている。 (観察・ワークシート)</p>	○	○	○	2

<p>C 単元：まち② 女川まちづくりプロジェクトを参考に「100年先も魅力的なまち」を作るための課題を考える。</p> <p>【知識及び技能】 ・まちづくりには、様々な立ち番・そこに住む人々の想いを大切にすることが必要であることを理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・自分のまちづくりの課題Xチャートを使って検討することを通して、課題を設定するスキルをトレーニングする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的・協働的に取り組むとともに、「よりよい未来」を実現しようとする態度を養う。</p>	<p>・指導事項 ①Xチャートを使ってテーマを検討し、課題を設定させる。 ②「100年先も魅力的な自分のまち」を作るためにはどのような課題が挙げられるか考えさせる。 ③課題解決によって、「魅力的なまち」へと発展することを確かめる。 ・教材 ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付けている。 (観察・ワークシート)</p> <p>【思考・判断・表現】 身近なものから、自分たちの生活の変化や、社会に与えた影響を考え、それを自らの言葉で表現することができる。 (観察・ワークシート)</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 課題解決に向けて、自分も積極的に関わろうとしている。 (観察・ワークシート)</p>	○	○	○	2
<p>C 単元：伝統継承① 東京駅丸の内駅舎 保存・復元プロジェクトについての情報を収集する</p> <p>【知識及び技能】 ・東京駅丸の内駅舎 保存・復元プロジェクトでは、技術を継承し、安全・安心(免震)の対策をすることで、伝統を未来に引き継ぐことができたことを確認する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・東京駅丸の内駅舎 保存・復元プロジェクトの加圧大と解決策について、表を使って情報収集するスキルをトレーニングする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的・協働的に取り組むとともに、「よりよい未来」を実現しようとする態度を養う。</p>	<p>・指導事項 ①東京駅がどのような駅なのか調べ、イメージを持つ。 ②プロジェクトの課題と解決策についての情報を収集する。 ③身近な地域の未来に引継ぎたいものには、今、どのような課題と解決策があるのか考える。 ・教材 ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付けている。 (観察・ワークシート)</p> <p>【思考・判断・表現】 身近なものから、自分たちの生活の変化や、社会に与えた影響を考え、それを自らの言葉で表現することができる。 (観察・ワークシート)</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 課題解決に向けて、自分も積極的に関わろうとしている。 (観察・ワークシート)</p>	○	○	○	2
<p>C 単元：伝統継承② 東京駅丸の内駅舎 保存・復元プロジェクトについての情報を収集する</p> <p>【知識及び技能】 ・東京駅丸の内駅舎 保存・復元プロジェクトでは、技術を継承し、安全・安心(免震)の対策をすることで、伝統を未来に引き継ぐことができたことを確認する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・東京駅丸の内駅舎 保存・復元プロジェクトの加圧大と解決策について、表を使って情報収集するスキルをトレーニングする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的・協働的に取り組むとともに、「よりよい未来」を実現しようとする態度を養う。</p>	<p>・指導事項 ①東京駅がどのような駅なのか調べ、イメージを持つ。 ②プロジェクトの課題と解決策についての情報を収集する。 ③身近な地域の未来に引継ぎたいものには、今、どのような課題と解決策があるのか考える。 ・教材 ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付けている。 (観察・ワークシート)</p> <p>【思考・判断・表現】 身近なものから、自分たちの生活の変化や、社会に与えた影響を考え、それを自らの言葉で表現することができる。 (観察・ワークシート)</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 課題解決に向けて、自分も積極的に関わろうとしている。 (観察・ワークシート)</p>	○	○	○	2
<p>C 単元：世界遺産① 姫路城大天守 保存修理プロジェクトについて整理・分析する</p> <p>【知識及び技能】 ・伝統の匠の技術と、その時代の最新のテクノロジーの融合によって今に引き継がれること、また、様々な人の想いで引き継がれてきた世界遺産を次の世代に引き継ぐには、今の時代を生きる自分たちが重要であることを学ぶ。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・昭和と平成の修理について表を使って整理し、共通点から項目を考えることを通じて、情報を整理・分析するスキルをトレーニングする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的・協働的に取り組むとともに、「よりよい未来」を実現しようとする態度を養う。</p>	<p>・指導事項 ①姫路城がどのような城なのか調べ、イメージを持つ。 ②昭和と平成の保存修理についての情報を整理・分析する。 ・教材 ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付けている。 (観察・ワークシート)</p> <p>【思考・判断・表現】 身近なものから、自分たちの生活の変化や、社会に与えた影響を考え、それを自らの言葉で表現することができる。 (観察・ワークシート)</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 課題解決に向けて、自分も積極的に関わろうとしている。 (観察・ワークシート)</p>	○	○	○	2

	<p>C 単元：世界遺産② 姫路城大天守 保存修理プロジェクトについて整理・分析する</p> <p>【知識及び技能】 ・伝統の匠の技術と、その時代の最新のテクノロジーの融合によって今に引き継がれること、また、様々な人の想いで引き継がれてきた世界遺産を次の世代に引き継ぐには、今の時代を生きる自分たちが重要であることを学ぶ。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・チャートを使って情報を分類し、省察したり、そこから知見を得ようとしていたりすることで、整理・分析するスキルをトレーニングする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的・協働的に取り組むとともに、「よりよい未来」を実現しようとする態度を養う。</p>	<p>・指導事項 ①チャートを使って自分の取り組みやプロジェクトを分析し、PDCAを理解させる。 ②姫路城大天守 保存修理プロジェクトがどのようなPDCAだったのか考える。</p> <p>・教材 ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付けている。 (観察・ワークシート)</p> <p>【思考・判断・表現】 身近なものから、自分たちの生活の変化や、社会に与えた影響を考え、それを自らの言葉で表現することができる。 (観察・ワークシート)</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 課題解決に向けて、自分も積極的に関わろうとしている。 (観察・ワークシート)</p>	○	○	○	2
	定期考査の実施はなし						
	<p>C 単元：共生① 羽田空港D滑走路の魅力をもとめる</p> <p>【知識及び技能】 ・新たな開発には周囲や環境への影響が伴うこと、それに配慮しながら開発を行うことの重要性や、課題を乗り越えたアイデア・技術の革新によって未来が拓かれていくことを理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・KJ法的手法を使ってプレゼンテーションの内容を考えることを通して、情報を集めるスキルをトレーニングする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的・協働的に取り組むとともに、「よりよい未来」を実現しようとする態度を養う。</p>	<p>・指導事項 ①工夫や背景の説明が足りない「不十分な例」を示し、より魅力を伝えるプレゼンテーションを作る意欲と、羽田空港Dの滑走路への興味・関心を高める。 ②羽田空港D滑走路建設にはどのような工夫と理由があるのか考えさせ、KJ法的手法を使ってまとめさせる。</p> <p>・教材 ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付けている。 (観察・ワークシート)</p> <p>【思考・判断・表現】 身近なものから、自分たちの生活の変化や、社会に与えた影響を考え、それを自らの言葉で表現することができる。 (観察・ワークシート)</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 課題解決に向けて、自分も積極的に関わろうとしている。 (観察・ワークシート)</p>	○	○	○	2
	<p>C 単元：共生② 羽田空港D滑走路の魅力を表現する</p> <p>【知識及び技能】 ・新たな開発には周囲や環境への影響が伴うこと、それに配慮しながら開発を行うことの重要性や、課題を乗り越えたアイデア・技術の革新によって未来が拓かれていくことを理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・ストーリーボードを使ってプレゼンテーションを検討することを通して、表現するスキルをトレーニングする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的・協働的に取り組むとともに、「よりよい未来」を実現しようとする態度を養う。</p>	<p>・指導事項 ①印象的なプレゼンテーションはどのような工夫があるのか考えさせ、プレゼンテーションを工夫することへの興味・関心を高める。 ②羽田空港D滑走路建設にはどのような工夫と理由があるのか考えさせ、KJ法的手法を使ってまとめる。</p> <p>・教材 ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付けている。 (観察・ワークシート)</p> <p>【思考・判断・表現】 身近なものから、自分たちの生活の変化や、社会に与えた影響を考え、それを自らの言葉で表現することができる。 (観察・ワークシート)</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 課題解決に向けて、自分も積極的に関わろうとしている。 (観察・ワークシート)</p>	○	○	○	2
2 学 期	<p>C 単元：まとめ わたしたちは、未来とどのように関わっていくべきか</p> <p>【知識及び技能】 ・これまでの学習を振り返り、自分は未来とどのように関わっていくべきか、自分なりの答えを出す。 ・SDGsを見すえ、自分はこのようなことを大切にしていこう意思を表示する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・1枚のシートで学習を振り返ることを通して、学びの記録を活用して自分の考えの変容を知るスキルをトレーニングする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的・協働的に取り組むとともに、「よりよい未来」を実現しようとする態度を養う。</p>	<p>・指導事項 ①4つのテーマとプロジェクトを振り返り、課題解決の意味と価値を確認する。 ②未来とどのように関わっていくべきか考えさせる。</p> <p>・教材 ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付けている。 (観察・ワークシート)</p> <p>【思考・判断・表現】 身近なものから、自分たちの生活の変化や、社会に与えた影響を考え、それを自らの言葉で表現することができる。 (観察・ワークシート)</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 課題解決に向けて、自分も積極的に関わろうとしている。 (観察・ワークシート)</p>	○	○	○	2



高等学校 令和8年度（2学年用） 教科

産業(ビジネス) 科目 マーケティング

教科： 産業(ビジネス) 科目： マーケティング

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 A 組～ F 組

教科担当者： (A組：寺崎) (B組：永井) (C組：池田) (D組：池田) (E組：堀米) (F組：池田)

使用教科書： ( 実教出版 マーケティング )

使用教材： ( 実教出版 マーケティング 教科書準拠問題集 )

教科 産業(ビジネス) の目標：

- 【知識及び技能】 マーケティングについて実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 マーケティングに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自ら学び、マーケティングに主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目 マーケティング の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
企業における事例など実際のマーケティングと関連付けて理解し、ビジネスの様々な場面で役に立つマーケティングに関する知識と技術を身に付ける。	課題を発見するとともに、企業活動が社会に及ぼす影響を踏まえ、顧客についての理解、市場の動向、マーケティングに関する理論、データ、成功事例や改善を要する事例などに基づいて、よりよく解決することについて考える。	当事者としての意識をもち、他者と信頼関係を構築して積極的に関わり、市場調査の実施と情報の分析、製品政策、価格政策、チャネル政策、プロモーション政策の企画と実施などに責任をもって取り組む。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	第1章 マーケティングの概要 1. マーケティングの歴史と発展 2. 現代の市場とマーケティング 3. マーケティング環境の分析 4. マーケティング・マネジメント	マーケティングを学ぶ意義を理解する。 現代市場の特徴を理解し、マーケティングの考え方や手順について学ぶ。 現代市場における消費者保護や環境問題、法令遵守、企業の社会的責任などの重要性について理解を深める。マーケティングの意義や一連の流れを学ぶ。	【知識・技能】 小テスト・考査等 【思考・判断・表現】 プリント・問題集・考査等 【主体的に学習に取り組む態度】 出欠・プリント・提出物・授業態度等	○	○	○	5
	第2章 消費者行動の理解 1. 消費者の心理と行動の関係 2. 購買意思決定過程 3. 消費者行動に影響を与える要因	マーケティング計画の立案に必要な消費者行動について学ぶ。 消費者の心理や購買意思決定までの過程、消費者行動に影響を与える要因について理解する。 消費者行動について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組む。	【知識・技能】 小テスト・考査等 【思考・判断・表現】 プリント・問題集・考査等 【主体的に学習に取り組む態度】 出欠・プリント・提出物・授業態度等	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
	第3章 市場調査 1. 市場調査の概要 2. 市場調査の手順 3. 仮説検証の手順 4. 実態調査の方法	市場調査について理解し、関連する技術を学ぶ。 市場調査に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づく調査計画を立案して実施し、評価・改善するとともに、市場調査で得られた情報を分析する。 市場調査について自ら学び、マーケティングに必要な情報の収集と分析に積極的に取り組む。	【知識・技能】 小テスト・考査等 【思考・判断・表現】 プリント・問題集・考査等 【主体的に学習に取り組む態度】 出欠・プリント・提出物・授業態度等	○	○	○	10
	第4章 STP 1. セグメンテーション 2. ターゲティング 3. ポジショニング	STP分析を理解し、関連する技術を学ぶ。また、その課題を発見し、その解決方法を考える。 STP分析について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組む。	【知識・技能】 小テスト・考査等 【思考・判断・表現】 プリント・問題集・考査等 【主体的に学習に取り組む態度】 出欠・プリント・提出物・授業態度等	○	○	○	7
定期考査			○	○		1	
2 学 期	第5章 製品政策 1. 製品政策の概要 2. 新製品開発 3. 販売計画と生産計画 4. 製品政策の動向	製品政策について企業における事例と関連付けて理解する。 製品政策に関する課題を発見し、それを踏まえ、製品政策を立案して実施し、評価・改善する。	【知識・技能】 小テスト・考査等 【思考・判断・表現】 プリント・問題集・考査等 【主体的に学習に取り組む態度】 出欠・プリント・提出物・授業態度等	○	○	○	14
	第6章 価格政策 1. 価格政策の概要 2. 価格の設定方法 3. 価格政策の動向	価格政策について企業における事例と関連付けて理解する。 価格政策に関する課題を発見し、それを踏まえ、価格政策を立案して実施し、評価・改善する。 価格政策について自ら学び、経済や消費者の動向などを踏まえ、価格政策に主体的かつ協働的に取り組む。	【知識・技能】 小テスト・考査等 【思考・判断・表現】 プリント・問題集・考査等 【主体的に学習に取り組む態度】 出欠・プリント・提出物・授業態度等	○	○	○	14
定期考査			○	○		1	

期	<p>第7章 チャネル政策</p> <p>1. チャネル政策の概要</p> <p>2. チャネルの選択と管理</p> <p>3. チャネル政策の動向</p> <p>第8章 プロモーション政策</p> <p>1. プロモーション政策の概要</p> <p>2. プロモーションの種類</p> <p>3. プロモーション政策の動向</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>チャネル政策とプロモーション政策を理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>プロモーション政策の課題を、経済や消費者の動向などを踏まえて考察する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>積極的に授業に参加し、自ら考え、表現しようとしている。</p>	<p>チャネル政策について企業における事例と関連付けて理解する。</p> <p>チャネル政策に関する課題を発見する。また、自ら学び、経済や消費者の動向などを踏まえ、チャネル政策に主体的かつ協働的に取り組む。</p> <p>プロモーション政策について企業における事例と関連付けて理解する。</p> <p>プロモーション政策に関する課題を発見し、それを踏まえてプロモーション政策を立案して実施し、評価・改善する。</p> <p>経済や消費者の動向などを踏まえ、プロモーション政策に主体的かつ協働的に取り組む。</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>小テスト・考査等</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>プリント・問題集・考査等</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>出欠・プリント・提出物・授業態度等</p>	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
3 学 期	<p>第9章 マーケティングのひろがり</p> <p>1. さまざまなマーケティング戦略</p> <p>2. サービス・マーケティング</p> <p>3. 小売マーケティング</p> <p>4. 観光地マーケティング</p> <p>5. グローバル・マーケティング</p> <p>6. ソーシャル・マーケティング</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>マーケティングの広がりを理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>マーケティングの広がりの課題を、経済や消費者の動向などを踏まえて考察する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>積極的に授業に参加し、自ら考え、表現しようとしている。</p>	<p>マーケティングの広がりについて企業における事例と関連付けて理解する。</p> <p>マーケティングの広がりに関する課題を発見し、それを踏まえ、科学的な根拠に基づいてその解決方法を考える。</p> <p>マーケティングの広がりについて自ら学び、主体的かつ協働的に取り組む。</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>小テスト・考査等</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>プリント・問題集・考査等</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>出欠・プリント・提出物・授業態度等</p>	○	○	○	10
	定期考査			○	○		70
合計							

高等学校 令和8年度（3学年用） 教科 ビジネス 科目 ビジネス法規

教科： ビジネス 科目： ビジネス法規 単位数： 3 単位

対象学年組： 第 3 学年 A 組～ F 組

教科担当者： （ A組：岩崎 藍 ） （ B組：岩崎 藍 ） （ C組：岩崎 藍 ） （ D組：藤井 宏之 ） （ E組：藤井 宏之 ） （ F組：藤井 宏之 ）

使用教科書： （ 商業740「ビジネス法規」 実教出版 ）

教科 ビジネス の目標：

【知識及び技能】 商業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 ビジネスに関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、ビジネスの創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目 ビジネス法規 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
ビジネスに関する法規について実務に即して体系的・系統的に理解するようにする。	法的側面からビジネスに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として法的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。	ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自ら学び、法規に基づくビジネスに主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	法の概要 【知識及び技能】 ビジネスを適切に行うための法の役割について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ビジネスを円滑に行うことができるようにするため具体的な事例と関連付けて分析し考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 憲法が最高法規として体系的に存在していること、法の分類及び法の解釈・適用の考え方を自ら学び、主体的かつ協働的に取り組む。	・社会規範 ・経済環境など社会の変化と法 ・法の体系と分類 ・法の適用と解釈  教科書 問題集 ビジネス法規便覧	【知識・技能】 ビジネスを適切に行うための法の役割について理解している。 【思考・判断・表現】 ビジネスを円滑に行うことができるようにするため具体的な事例と関連付けて分析し考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 憲法が最高法規として体系的に存在していること、法の解釈・適用の考え方を自ら学び、主体的かつ協働的に取り組んでいる。	○	○	○	11
	権利・義務と財産権 【知識及び技能】 権利・義務の概要、権利行使、物権、債券など財産権の概要について法規と関連付けて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 知的財産の種類とその権利について、法規と関連付けて理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 知的財産権を活用したビジネスの現状について自主的に学ぶ。	・権利と義務 ・権利・義務の主体 ・自然人の権利能力 ・自然人の行為能力と制限行為能力者制度 ・法人  教科書 問題集 ビジネス法規便覧	【知識・技能】 権利・義務の概要、権利行使、物権、債券など財産権の概要について法規と関連付けて理解している。 【思考・判断・表現】 知的財産の種類とその権利について、法規と関連付けて理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 知的財産権を活用したビジネスの現状について自主的に学んでいる。	○	○	○	11
	定期考査			○	○		1
	権利・義務と財産権 【知識及び技能】 権利・義務の概要、権利行使、物権、債券など財産権の概要について法規と関連付けて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 知的財産の種類とその権利について、法規と関連付けて理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 知的財産権を活用したビジネスの現状について学ぶ。	・物 ・財産権とその種類 ・知的財産権とその保護 ・知的財産権の特徴と種類 ・産業に関する知的財産権 ・デザイン・マーク ・著作物に関する知的財産権 ・知的財産権の保護  教科書 問題集 ビジネス法規便覧	【知識・技能】 権利・義務の概要、権利行使、物権、債券など財産権の概要について法規と関連付けて理解している。 【思考・判断・表現】 知的財産の種類とその権利について、法規と関連付けて理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 知的財産権を活用したビジネスの現状について学んでいる。	○	○	○	22
定期考査			○	○		1	
2 学 期	財産権の変動 【知識及び技能】 契約全般について、雇用契約、売買契約など企業活動における契約について法規と関連付けて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 契約当事者の権利・義務関係について、企業活動における具体的な事例を用いて法規と関連付けて理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 企業活動における契約について扱い、法規と関連付けて分析する。	・取引と契約 ・契約の一般原則 ・契約と意思表示 ・契約の分類  教科書 問題集 ビジネス法規便覧	【知識・技能】 契約全般について、雇用契約、売買契約など企業活動における契約について法規と関連付けて理解している。 【思考・判断・表現】 契約当事者の権利・義務関係について、企業活動における具体的な事例を用いて法規と関連付けて理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 企業活動における契約について扱い、法規と関連付けて分析している。	○	○	○	23
	定期考査			○	○		1
	財産権の変動 【知識及び技能】 契約当事者の不法行為や時効の各関係について、企業活動における事例を用いて、法規と関連付けて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 契約当事者の不法行為や時効の課	・売買 ・不動産の売買 ・動産の売買 ・債権の売買 ・売買契約当事者の権利・義務 ・消費貸借 ・貸貸借 ・宅地・建物の貸借	【知識・技能】 契約当事者の不法行為や時効の各関係について、企業活動における事例を用いて、法規と関連付けて理解している。 【思考・判断・表現】 契約当事者の不法行為や時効の課題を発見	○	○	○	23

	<p>題を発見し課題への対応を考案する。  <b>【学びに向かう力、人間性等】</b>  不法行為や時効など身近な事例を用いて自ら学び主体的かつ協働的に取り組む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・使用貸借</li> <li>・不法行為</li> <li>・時効</li> </ul> <p>教科書  問題集  ビジネス法規便覧</p>	<p>し  課題への対応を考案している。  <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b>  不法行為や時効など身近な事例を用いて自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を養っている。</p>	○	○	○	20	
	定期考査			○	○		1	
3 学 期	<p>企業責任と法規/紛争の解決と予防  <b>【知識及び技能】</b>  法令遵守と説明責任の意義と重要性について学び、具体的な事例と関連付けて理解する。  公証制度や民事訴訟制度の概要について、法規と関連付けて理解する。  <b>【思考力、判断力、表現力等】</b>  企業統治の意義と重要性について学び、具体的な事例と関連付けて理解する。  企業における紛争の予防と解決に関する課題について学び、具体的な事例を用いて、法規と関連付けて分析する。  <b>【学びに向かう力、人間性等】</b>  労働者の保護の重要性及び日本における労働者の保護に関する課題について学び、具体的な事例を用いて、考察する学習活動に取り組む。  国際的な紛争は国による法制度の違いが一因になっている現状について学ぶ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法令遵守と説明責任</li> <li>・労働者の保護</li> <li>・消費者の保護</li> <li>・情報の保護</li> <li>・紛争の解決</li> <li>・紛争の予防</li> </ul> <p>教科書  問題集  ビジネス法規便覧</p>	<p><b>【知識・技能】</b>  法令遵守と説明責任の意義と重要性について学び、具体的な事例と関連付けて理解している。  公証制度や民事訴訟制度の概要について、法規と関連付けて理解している。  <b>【思考・判断・表現】</b>  企業統治の意義と重要性について学び、具体的な事例と関連付けて理解している。  企業における紛争の予防と解決に関する課題について学び、具体的な事例を用いて、法規と関連付けて分析している。  <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b>  労働者の保護の重要性及び日本における労働者の保護に関する課題について学び、具体的な事例を用いて、考察する学習活動に取り組んでいる。  国際的な紛争は国による法制度の違いが一因になっている現状について学んでいる。</p>	○	○	○	10	
	定期考査			○	○		1	
							合計	105

高等学校 令和8年度（1学年用） 教科 ビジネス科 科目 簿記

教科： ビジネス科 科目： 簿記

単位数： 3 単位

対象学年組： 第 1 学年 A 組～ F 組

教科担当者： （A組：寺崎） （B組：重光） （C組：寺崎） （D組：重光） （E組：堀米） （F組：永井）

使用教科書： （実教出版 新簿記 新訂版）

教科 ビジネス科 の目標： 実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、取引の記録と財務諸表の作成に必要な資質・能力を育成することを目指す。

【知識及び技能】 実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 取引の記録や各種帳票の作成方法の妥当性と課題を見出し、創造的に課題に対応する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 企業会計に関する法規や基準を適切に運用する力の向上を目指し、自ら学び取り組む態度を養う。

科目 簿記 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
簿記について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	取引の記録と財務諸表の作成の方法の妥当性と課題を見だし、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に課題に対応する力を養う。	企業会計に関する法規と基準を適切に適用する力の向上を目指して自ら学び、適正な取引の記録と財務諸表の作成に主体的かつ協動的に取り組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 単元 簿記の基礎 【知識及び技能】 簿記の意味・記帳の重要性を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 簿記の種類、前提条件などを理解させる。 【学びに向かう力、人間性等】 簿記の学習の心がまえを養う。	・簿記の基礎 ・資産・負債・純資産 ・貸借対照表 ・収益と費用 ・損益計算書  ○教科書 問題集 電卓	【知識・技能】 基礎的な知識を身に付けたか。 【思考・判断・表現】 簿記の意義と必要性を考えたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 学習に興味を示し、学習しようとする態度がみられたか。	○	○	○	8
	B 単元…取引と勘定 仕訳と転記 【知識及び技能】 勘定・勘定科目・勘定口座などの意味を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 取引を分解し、勘定に記入する方法を理解させる。 【学びに向かう力、人間性等】 企業の取引に関する関心を養う。	・取引と勘定 ・勘定記入のルール ・仕訳と転記 ・仕訳帳と総勘定元帳 ・総勘定元帳の記入方法 ・試算表  ○教科書 問題集 電卓	【知識・技能】 仕訳の手順について理解しているか。 【思考・判断・表現】 仕訳・転記について適切に判断したか。 【主体的に学習に取り組む態度】 企業の取引に対し関心を持ったか。	○	○		7
	定期考査			○	○		1
	C 単元…決算 現金・預金などの取引 【知識及び技能】 決算の重要性について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 決算手続き全体の流れを理解させる。 【学びに向かう力、人間性等】 決算がなぜ必要か関心を養う。	・精算表 ・決算とは ・決算の一連の手続き ・決算の本手続き ・決算の報告 ・現金・現金出納帳 ・当座預金・現金出納帳 ・その他の預金 ○教科書 問題集 電卓	【知識・技能】 各種帳票と記帳法を理解したか。 【思考・判断・表現】 記帳に関し適切に判断できたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 記帳処理を積極的に進めようとしたか。	○	○	○	10
D 単元…商品売上の取引 掛け取引 【知識及び技能】 取引の基本的な内容とその記帳法を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 記帳に関して適切に判断する力を身に付けさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 記帳処理の学習を積極的に進める力を養う。	・小口現金・小口現金出納帳 ・分記法・3分法 ・仕入帳・売上帳 ・商品有高帳 ・商品売買損益の計算 ・掛け取引とは ・売掛金・買掛金に関する取引 ○教科書 問題集 電卓	【知識・技能】 各種帳票と記帳法を理解したか。 【思考・判断・表現】 記帳に関し適切に判断できたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 記帳処理を積極的に進めようとしたか。	○	○	○	10	
定期考査			○	○		1	
2 学 期	単元…その他の債権・債務の取引 固定資産の取引 【知識及び技能】 取引に関する基本的な内容と記帳法を理解させる。 【思考力、判断力、表現等】 知識と技術を活用して適切に判断させる。 【学びに向かう力、人間性等】 記帳処理の学習を積極的に進める力を養う。	・貸付金と借入金 ・手形貸付金と手形借入金 ・前払金と前受金 ・未収入金と未払金 ・立替金と預り金 ・仮払金と借受金 ・受取商品券 ・固定資産とは ・固定資産の取得・売却 ○教科書 問題集 電卓	【知識・技能】 基本的な内容と記帳法を理解したか。 【思考・判断・表現】 知識と技術を活用し適切に判断したか。 【主体的に学習に取り組む態度】 記帳処理を積極的に進めようとしたか。	○	○	○	12
	単元…個人企業の資本の取引 販売費と一般管理費 決算整理（その1） 【知識及び技能】 取引に関する基本的な内容と記帳法を理解させる。 【思考力、判断力、表現等】 知識と技術を活用して適切に判断させる。 【学びに向かう力、人間性等】 記帳処理の学習を積極的に進める力を養う。	・資本の追加元入れ ・販売費及び一般管理費 ・決算整理とは ・商品売上の勘定の決算整理 ・貸し倒れの見積もり ○教科書 問題集 電卓	【知識・技能】 決算整理の意味・必要性を理解したか。 【思考・判断・表現】 財務諸表を活用し判断できたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 決算整理事項について関心をもったか。	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
	単元名…決算整理（その1） 【知識及び技能】 決算整理の意味とその必要性を理解させる。 【思考力、判断力、表現等】 財務諸表を活用し企業の現状を分析できる。 【学びに向かう力、人間性等】 決算整理についての関心を養う。	・定額法による減価償却 ・8桁精算表とは ・8桁精算表の作成の手順 ・帳簿決算とは ・財務諸表の作成 ○教科書 問題集 電卓	【知識・技能】 決算整理の意味・必要性を理解したか。 【思考・判断・表現】 財務諸表を活用し判断できたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 決算整理事項について関心をもったか。	○	○	○	10
単元名…会計帳簿と帳簿組織 伝票の利用 【知識及び技能】 これまで学んだ諸帳簿の記帳法を理解させる。 【思考力、判断力、表現等】	・会計帳簿の役割と種類 ・分課制度と帳簿組織 ・証ひょうと伝票 ・3伝票制 ・全簿記実務検定試験3級受験対策 ○教科書 問題集 電卓	【知識・技能】 これまで学んだ諸帳簿を理解できたか。 【思考・判断・表現】 これまで学んだ取引を処理できたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 総合問題へ積極的に学習したか。	○	○	○	10	

	<p>これまで学んだ取引を適切に処理できる。 【学び向かう力、人間性等】 総合問題への学習を積極的に進める力を養う。 定期考査</p>							1
3 学 期	<p>単元名…会計ソフトウェアの活用 【知識及び技能】 会計ソフトを活用することによる利点を理解させる。 【思考力、判断力、表現等】 記帳の合理化を達成する方法を考えることができる。 【学び向かう、人間性等】 運用方法について積極的に学ぶ力を養う。 定期考査</p>	<p>・会計ソフトウェアとは ・取引データの入力と財務諸表の作成 ・会計ソフトウェアによる伝票の起票 ・会計ソフトウェアによる決算 ・全商簿記実務検定試験3級受験対策 ○教科書 問題集 電卓</p>	<p>【知識・技能】 会計ソフト活用による利点を理解したか。 【思考・判断・表現】 合理化達成方法を考えることができた。 【主体的に学習に取り組む態度】 運用方法を積極的に学ぼうとしたか。</p>	○	○	○	20	
							1	
							合計 105	

高等学校 令和8年度 ( 2 学年用)

ビジネス 科目 簿記

教科: ビジネス 科目: 簿記

単位数: 2 単位

対象学年組: 第 2 学年 A 組~ F 組

教科担当者: (A組 池田 印) (B組 池田 印) (C組 高橋祐 印) (D組 高橋祐 印) (E組 池田 印) (F組 横山 印)  
(A組 高橋祐 印) (B組 堀米 印) (C組 堀米 印) (D組 永井 印) (E組 堀米 印) (F組 高橋祐 印)

使用教科書: 新簿記(実教出版)

教科 ビジネス の目標: 商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、ビジネスを通じて、地域産業をはじめ経済社会の健全で持続的な発展を担う職業人として必要な資質・能力を育成することを旨とする。

【知識及び技能】商業の各分野に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させる

【思考力、判断力、表現力等】ビジネスの意義や役割について理解させる

【学びに向かう力、人間性等】ビジネスの諸活動を主体的、合理的に、かつ倫理観をもって行い、経済社会の発展を図る創造的な能力と実践的

科目 簿記 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
簿記の定義、簿記の目的、簿記の種類、簿記の歴史、簿記の前提条件について、その知識・技術を身に付けている。	簿記の定義、簿記の目的、簿記の種類、簿記の歴史、簿記の前提条件について、思考・判断し、それを表現する仕方を身に付けている。	自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	第1編 取引の記帳 (I)	<ul style="list-style-type: none"> <li>手形の裏書譲渡・割引・書き換え・不渡りの意味を明らかにし、その記帳方法を理解させる。</li> <li>営業外受取手形と営業外支払手形の意味を明らかにし、その記帳方法を理解させる。</li> <li>個人企業の資本・税金の記帳方法を理解させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>手形の裏書譲渡・割引・書き換え、不渡手形等の取引に関する基本的な内容と記帳法を理解したか。</li> <li>営業外受取手形と営業外支払手形の取引に関する基本的な内容と記帳法を理解したか。</li> <li>特殊な手形の取引について自らの思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、表現する能力を身につけたか。</li> <li>なぜ商業手形と金融手形は勘定科目を区別しなければならないのかに関心を持ち、自ら調べる態度を示したか。</li> </ul>	○	○	○	5
	定期考査			○	○		1
	第1編 取引の記帳 (II)	<ul style="list-style-type: none"> <li>クレジット売掛金と電子記録債権・電子記録債務の意味を明らかにし、理解させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>クレジット売掛金と電子記録債権・電子記録債務の取引に関する基本的な内容とその記帳法を理解したか。</li> <li>クレジット売掛金と電子記録債権・電子記録債務に関する記帳に自らの思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、表現する能力を身につけたか。</li> <li>最近の実務に広がる取引に関心を高め、日常生活で行っている商取引について、どのような仕訳で表すか自ら進んで調べる態度を示したか。</li> </ul>	○	○	○	10
	第1編 本支店会計	<ul style="list-style-type: none"> <li>支店会計の独立の意味を理解させる。</li> <li>支店会計が独立している場合の本支店間の取引、支店相互間の取引の記帳方法を理解させる。</li> <li>本支店合併の損益計算書・貸借対照表の作り方を理解させ、その作成に習熟させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本支店間の取引、支店相互間の取引などに関する基本的な内容を理解して、基礎的な技術を身につけたか。</li> <li>本支店の合併貸借対照表と合併損益計算書について基本的な内容を理解し、作成法を身につけたか。</li> <li>本支店間の取引、支店相互間の取引について、その記録・計算・整理に関する問題の解決を目指して、自らの考えを深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、表現する能力を身につけたか。</li> <li>本支店の貸借対照表と損益計算書の合併の手続きとその作成法に関心を持ち、進んで取り組み、作成した貸借対照表と損益計算書からビジネスの諸活動を理解しようとしているか。</li> </ul>	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
	第2編 決算	<ul style="list-style-type: none"> <li>決算整理の意味とその必要性を理解させる。</li> <li>3分法による商品売買に関する勘定の整理、貸し倒れの見積もり、減価償却の処理法を理解させ、その記帳に習熟させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>費用・収益の繰り延べと見越し、切手・はがきなどの未使用分の処理、有価証券の評価、間接法による減価償却の記帳などに関する基礎的・基本的な技術を身につけたか。</li> <li>費用・収益の繰り延べ・見越しなどを含んだ財務諸表について自らの思考を深め、適切に作成できているか。</li> <li>費用・収益の繰り延べ・見越しなどを決算整理として行う理由に関心を持ち、自ら進んで調べる態度を示したか。</li> </ul>				10
	定期考査			○	○		1



高等学校 令和8年度（1学年用） 教科 産業科 科目 産業技術基礎

教科：産業科 科目：産業技術基礎 単位数：3 単位

対象学年組：第1学年 A組～F組

教科担当者：（A～F組：遠藤 小屋野 富澤 深田 森中 仲三河 岩金）

使用教科書：（自校作成テキスト及び資料）

教科 産業科 の目標：

- 【知識及び技能】ものづくりにおける知識と基礎技術を習得し、それを活用する力を養う。
- 【思考力、判断力、表現力等】ものづくりにおける知識と基礎技術を活用し、自ら作品を企画・制作する力を身につける。
- 【学びに向かう力、人間性等】ものづくりにおける社会の共通課題を見出し、他者と協働して課題解決を図る姿勢・能力を養う。

科目 産業技術基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
ものづくりの基礎的な知識と技術を身につけ、技術を適切に処理する技術を身につけている。	ものづくりの基礎的な知識と技術を活用して適切に判断し、その結果を的確に表現し伝える能力を身につけている。	産業界が求めている複合的な視野を持った人材を育成する。ものづくりの基礎的な知識と技術を活用して適切に判断し、その結果を的確に表現し伝える能力を身につけている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当
							時数
前半・後半	オリエンテーション	・指導事項 産業技術基礎について理解する。		○	○	○	3
	レーザー加工/金属加工 【知識及び技能】 基礎技術の習得と基礎技能向上 【思考力、判断力、表現力等】 機器と工具の取り扱い方の理解と使用用途に合わせた判断 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に学ぶ態度	・指導事項 レーザー加工機の安全指導と取り扱い方について理解する。 キーホルダーの製作 切削加工機の安全指導と取り扱い方について理解する。 文鎮の製作		○	○	○	17
	製図/電気電子工作 【知識及び技能】 製図・電子工作の基礎知識の向上 【思考力、判断力、表現力等】 機器の取り扱いを理解できるか 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に学ぶ態度	・指導事項 製図、文字、三角法について学習させる。 等角投影図、展開図について学習させる。 回路設計と電子部品について学習させる。		○	○	○	17
	クラフト/染色 【知識及び技能】 基礎技術の習得と基礎技能向上 【思考力、判断力、表現力等】 工具の取り扱い方の理解と使用用途に合わせた判断 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に学ぶ態度	・指導事項 伝統工芸の技法を学ぶ。 錫のスプーン製作 不織布とステンシルシートによる染織製作	【知識・技能】 ものづくりと伝統工芸の基礎的な知識と技術を身につけている。  【思考・判断・表現】 ものづくりと伝統工芸の基礎的な知識と技術を活用して適切に判断し、その結果を的確に表現し伝える能力を身につけている。	○	○	○	17
	陶芸/ガラス 【知識及び技能】 基礎的な知識および技能の習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 アイデアを考え、材料の特性を判断して作品に表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 興味関心を持ち、主体的に実習に取り組む態度を身につける。	・指導項目 【陶芸】 手捻りによる小作品製作 陶芸の歴史を調べ理解する。 【ガラス】 バーナーワークによるトンボ制作 安全指導、材料や道具の取り扱い	【主体的に学習に取り組む態度】 ものづくりと伝統工芸について主体的に興味・関心を持ち、その改善向上をめざして意欲的に取り組み、積極的に学ぶ態度を身につけている。	○	○	○	17
	基礎デザイン 【知識及び技能】 オリジナルのデザインができたか 【思考力、判断力、表現力等】 パターンデザインを理解したか 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に学習に取り組んだか	・指導項目 著作権を理解させる 色彩の基本を理解させる 平面構成の基本を理解させる		○	○	○	17
	木工基礎 【知識及び技能】 鋸・墨付け・さしがね・鉋 【思考力、判断力、表現力等】 道具の知識・使用方法・加工仕上 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に学ぶ態度と作業姿勢	・指導項目 鋸・さしがねの使い方・知識・使用方法の基礎を理解させる。 墨付け「矩巻き」と鋸の使い方を、横引き鋸の練習を通して理解させる。鍋敷きの墨付け・加工を通して、鋸・鑿・さしがねの技能習得を目指す。		○	○	○	17
						合計	105











